MITSUBISHI ELECTRIC

WT11214X01_A4
KF79G024G01

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機パッケージエアコン
[共通]
MA スマートリモコン

形名

PAR-48MA
PAR-48MA-P

据付工事説明書（設定編）
（販売店・工事店様用）

もくじ　ページ

1. 各部のなまえとはたらき … 4
2. 設定前の準備 … 7
3. 設定方法 … 8
4. 修理を依頼する前に … 65
5. 法令関連の表示 … 68

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- 「据付工事説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

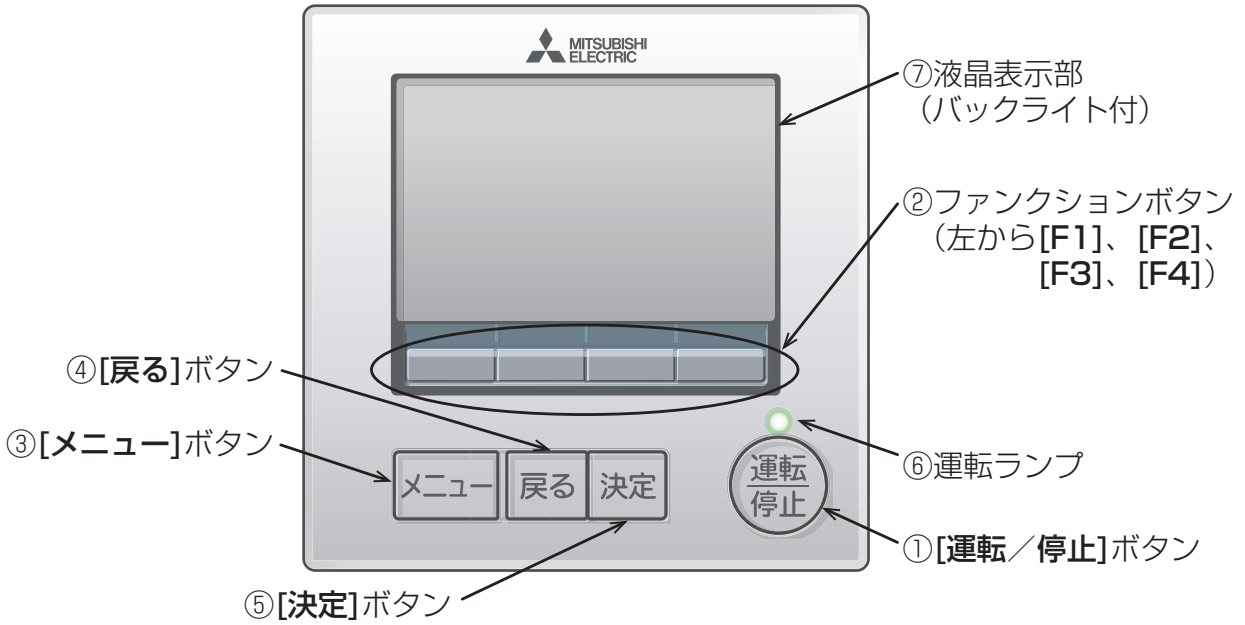
ページ

1. 各部のなまえとはたらき ····· 4
1-1. リモコンの各ボタンの説明 ····· 4
1-2. ファンクションボタンの操作について ····· 5
2. 設定前の準備 ····· 7
3. 設定方法 ····· 8
3-1. 電源投入 ····· 8
3-2. 試運転 ····· 9
3-3. 初期設定 ····· 10
3-4. サービスメニュー ····· 33
4. 修理を依頼する前に ····· 65
4-1. リモコン診断 ····· 65
4-2. 無線センサ設定 ····· 67
5. 法令関連の表示 ····· 68
5-1. 商標について ····· 68

この説明書は据付工事時に設定する項目（初期設定・サービス）について記載しています。よくお読みのうえ、設定してください。なお、リモコンの据付工事方法は据付工事説明書（据付編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事は、空調機本体の据付工事説明書を参照してください。
この説明書は、設定完了後にお客様にお渡しください。

1. 各部のなまえとはたらき

1-1. リモコンの各ボタンの説明



項目	内容
① [**運転 / 停止**] ボタン	室内ユニットの運転 / 停止をします。
②ファンクションボタン	メイン画面で運転モード、設定温度、風速を設定します。 各画面でメニュー項目や設定の選択に使用します。
③ [**メニュー**] ボタン	メインメニュー画面を表示します。
④ [**戻る**] ボタン	各画面で前の画面に戻るときに使用します。
⑤ [**決定**] ボタン	各画面で設定画面に移行するときや、設定を確定するときに使用します。
⑥運転ランプ	運転中に緑色に点灯します。立上げ時、異常発生時、Bluetooth® 受信時は点滅します。
⑦液晶表示部	ドット表示します。 いずれかのボタンの操作時にバックライトが点灯し、一定時間後に消灯します。 点灯時間は画面により異なります。 点灯中にボタン操作すると点灯時間が延長されます。

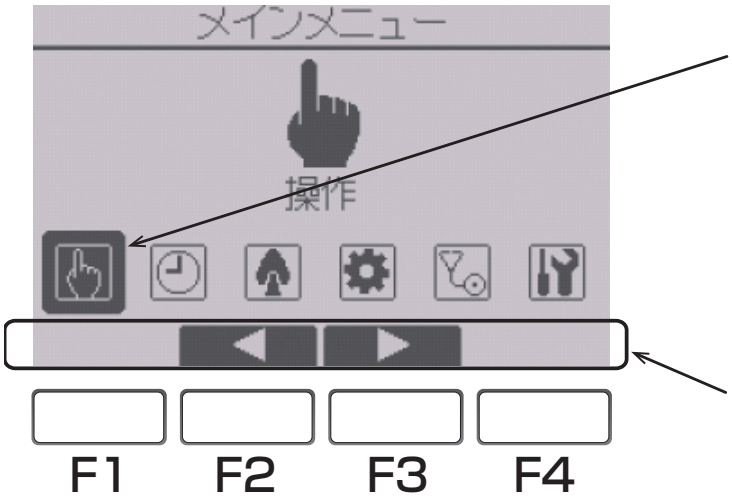
お知らせ

- バックライトが消えているときは最初のボタン操作で、バックライトを点灯します。
  操作内容は受け付けません（**[運転/停止]** ボタンは除く）。

1-2. ファンクションボタンの操作について

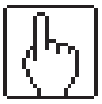
メイン画面で **[メニュー]** ボタンを押すと、下記メインメニューが表示されます。詳細は指定のページを参照してください。「電源投入（8ページ）」

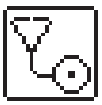
〈メインメニュー画面の操作例〉



ファンクションボタン**[F2][F3]**ボタンでカーソルを選択したい項目に合わせ、**[決定]**ボタンを押すと次の画面が表示されます。一部パスワードが必要な項目があります。

各画面で液晶表示部の下方にファンクションボタンの説明が表示されます。

アイコン	内容		参照先
	操作	操作メニューを表示します。 ハイパワー運転･快適設定をします。	取扱説明書
	タイマー	タイマーメニューを表示します。 タイマー設定・週間スケジュール設定･室外サイレントモード設定をします。	取扱説明書
	省エネ	省エネメニューを表示します。 制限設定・省エネ設定・エネルギー使用量表示（スリムのみ）をします。	取扱説明書

アイコン	内容		参照先
	初期設定	初期設定メニューを表示します。 基本設定・表示設定・運転設定・無線 LAN アダプタ設定をします。	「リモコン名称設定（16 ページ）」 「リモコン表示設定（24 ページ）」 「運転設定メニュー（28 ページ）」 「管理者パスワード登録（15 ページ）」 「無線 LAN アダプタ設定（スリムのみ）（31 ページ）」 「無線センサ設定（17 ページ）」 「リモコンアラーム設定（22 ページ）」
	メンテナンス	メンテナンスメニューを表示します。 異常情報表示･フィルター情報表示･清掃メニュー設定をします。	取扱説明書
	サービス	サービスメニューを表示します。 試運転メニュー･サービス情報登録・設定・点検・サービス用パスワード登録･リモコン情報確認をします。	「サービスメニュー（33 ページ）」

※ 初期設定各画面で 10 分間、サービス各画面で 2 時間操作が無い場合は自動的にメイン画面に戻ります。このとき設定途中のデータは破棄されます。

接続する室内ユニットによって使用できるメニューが異なります。
本リモコンに同梱している説明書に記載されていない事項は空調機本体の説明書を参照してください。

2. 設定前の準備

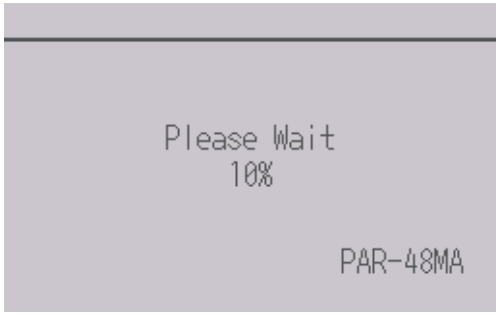
据付工事説明書（据付編）に従って本機の据付工事が完了しているか、また、室内ユニット、室外ユニットの据付工事が完了しているかを事前に確認してください。

3. 設定方法

3-1. 電源投入

手順

1. ユニットの電源を投入する。
   電源投入後、右の表示が出ます。
   正常に立ち上がるとメイン画面が表示されます。



正常時（立上げ進捗を%表示します）

お知らせ

- マルチについては形名末尾がG1以降の室内ユニットにのみMAスマートリモコンのペア接続ができます。

メイン画面は「詳細」「簡易」「日英併記」「空調換気」の４種類を選択できます。
画面の切替えについては指定のページを参照してください。「表示設定メニュー（23ページ）」（工場出荷時は「詳細」です）

お願い

- **ペアリモコン使用時は、1台を従リモコンに設定してください。**
  R32冷媒を使用するシステムでペアリモコン使用時は、1台を従リモコンまたは管理人室リモコンに設定してください。設定方法は指定のページを参照してください。「基本設定メニュー（11ページ）」
- **アイコン表示の意味については「取扱説明書」を参照してください。**
- **R32冷媒を使用するシステムでは電源投入に制約事項があります。詳細はビル用マルチエアコン 施工/サービスマニュアル（R32冷媒対応）を参照してください。**

3-2. 試運転

〈サービス用パスワードが必要です〉

1) 試運転を行う前に室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。
2) メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」→「試運転」→「試運転操作」により、試運転をします。
3) 試運転の運転状態のデータを表示することができます。
操作方法については指定のページを参照してください。「運転データ収集機能（スリムのみ）（57ページ）」
4) **[運転/停止]** ボタン操作を押すと、試運転は停止します。
5) 試運転の詳細、および試運転によって異常が発生した場合の対応については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。
6) R32冷媒を使用するシステムでの立ち上げ時はインターロック解除の承認作業が必要になる場合があります。詳細はビル用マルチエアコン 施工/サービスマニュアル(R32冷媒対応)を参照してください。
7) リモコンをR32冷媒漏えい警報器として使用する場合、回路検査を実施してください。詳細はビル用マルチエアコン 施工/サービスマニュアル（R32冷媒対応）を参照してください。

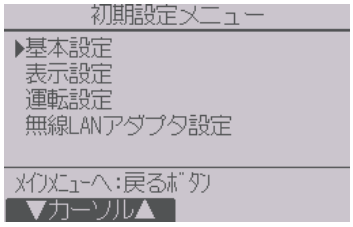
お知らせ

- サービス用パスワードについては指定のページを参照してください。
「サービスメニュー（33ページ）」

3-3. 初期設定

〈管理者用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」により、リモコン本体への各種設定をします。

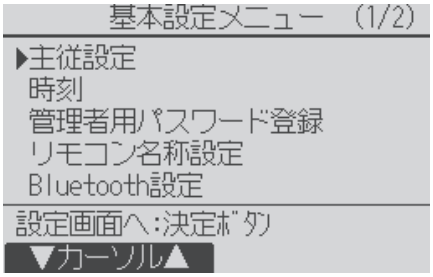


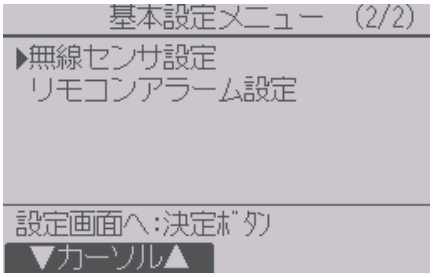
基本設定メニュー	主従設定
	時刻（サマータイム）
	管理者用パスワード登録
	リモコン名称設定
	Bluetooth 設定 （取扱説明書を参照）
	無線センサ設定
	リモコンアラーム設定
表示設定メニュー	メイン画面表示設定
	リモコン表示設定
	コントラスト・輝度調整
	エネルギー管理表示設定 (取扱説明書を参照)
運転設定メニュー	自動モード設定
	換気動作設定
無線 LAN アダプタ設定	

お知らせ

- 管理者用パスワードについては指定のページを参照してください。「管理者パスワード登録（15 ページ）」

[1] 基本設定メニュー



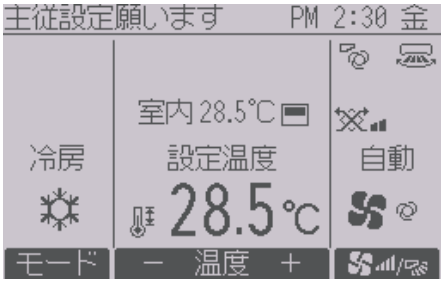


(1) 主従設定

ペアリモコンで使用するときには設定が必要です。ペアリモコンのうち１台を従リモコンに設定してください。

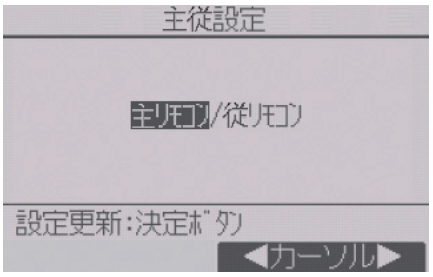
※ ペアリモコンシステムにおける主従設定（“１グループ” でリモコン２台接続）の関係については、据付工事説明書（据付編）を参照してください。

※ 主リモコンが２台接続されている場合、メイン画面に「主従設定願います」とメッセージが表示されます。このメッセージは主従設定が完了後、しばらくすると自動的に消えます。



手順

1. **[F3] [F4]** ボタンを押して、現在選択している項目を反転表示させる。
2. 従リモコンを選択する。
3. **[決定]** ボタンを押して、設定更新する。
4. 設定後、**[メニュー]** ボタンを押して、メインメニュー画面に戻る。
   （以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです）



お知らせ

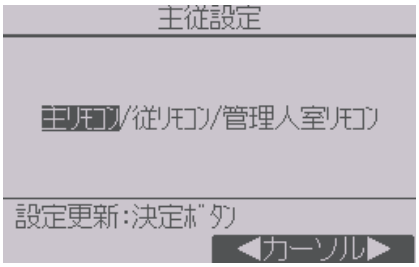
- 従リモコンには制約事項があります。詳細は、本リモコンの取扱説明書を参照してください。

R32 冷媒を使用するシステムの場合、管理人室リモコンが設定可能となります。管理人室リモコンではメイン画面にて冷媒漏えい状態表示のみ行い、空調機の操作、状態確認はできません。管理人室リモコンで使用する時には、ペアリモコンのうち 1 台を管理人室リモコンに設定し、もう片方を主リモコンに設定してください。

※ 管理人室リモコン単体では起動できません。管理人室リモコンを使用するシステムについてはビル用マルチエアコン 施工 / サービスマニュアル (R32 冷媒対応) を参照してください。

※ 従リモコンと管理人室リモコンの組み合わせは設定できません。

手順



1. **[F3] [F4]** ボタンを押して、管理人室リモコンを選択する。
2. **[決定]** ボタンを押して、設定更新する。
3. 設定後、**[メニュー]** ボタンを押して、メインメニュー画面に戻る。
   (以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

お知らせ

- 管理人室リモコンには制約事項があります。詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

(2) 時刻設定

手順

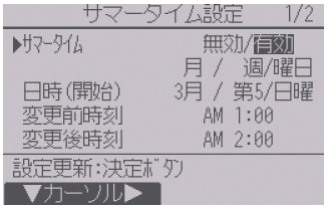
1. **[F1] [F2]** ボタンを押して、変更する項目に移動する。
2. **[F3] [F4]** ボタンを押して、年（西暦下二桁）、月、日、時、分を変更し、**[決定]** ボタンを押して時刻を更新する。
   更新した時刻は、メイン画面の時刻表示に反映されます。

お知らせ

- 「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常履歴など」に必要です。初めて使用するときや長期間使用しなかったときは時刻を設定してください。

(3) サマータイム設定

サマータイムの開始/終了時刻を設定します。設定した内容に従いサマータイム機能が働きます。システム内にシステムコントローラがある場合、本項目の設定は不要です。
本機能が作動した場合、タイマー機能が複数回作動する場合があります。また、本機能は時刻未設定状態では作動しません。



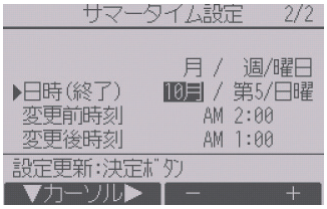
手順

1. **[F1]**～**[F4]** ボタンを押してサマータイム機能の「有効」/「無効」、および開始、終了時間を設定する。

サマータイム	：	無効(サマータイムが作動しません。) 有効(サマータイムが作動します。)
日時(開始)	：	サマータイム開始日の月、週、曜日を設定する。
変更前時刻	：	サマータイム開始時刻を設定する。
変更後時刻	：	サマータイム開始時の変更時刻を設定する。
2ページ目		
日時(終了)	：	サマータイム終了日の月、週、曜日を設定する。
変更前時刻	：	サマータイム終了時刻を設定する。
変更後時刻	：	サマータイム終了時の変更時刻を設定する。

2. **[決定]** ボタンを押して設定を保存する。

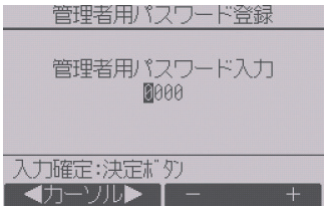
※ 開始終了日時で５週を選択し、その年の設定された月に５週が存在しない場合は４週として作動します。



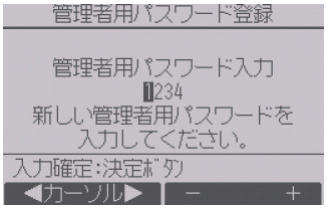
(4) 管理者パスワード登録

手順

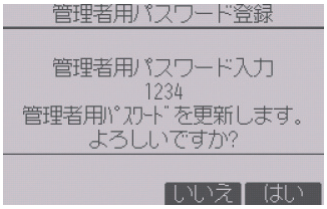
1. 現在設定されている管理者用のパスワード(数字４桁) を入力する。
   [F1] [F2] ボタンを押して桁を選択し、**[F3] [F4]** ボタンを押して０～９の数字を設定します。



2. ４桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押す。
   パスワードが一致すると新規パスワード入力画面が表示されます。



3. 同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、**[決定]** ボタンを押す。
   パスワード更新確認画面が表示されます。
4. **[F4]** (はい) ボタンを押して管理者用パスワードを更新する。
   取り消す場合は **[F3]** (いいえ) ボタンを押します。



お願い

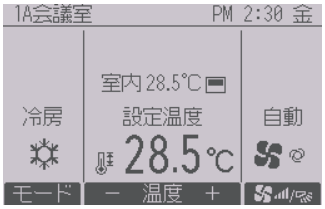
- **管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定を変更しないよう、パスワードの変更は管理者の方が設定してください。**
- **パスワードは必要な方が分かるように適切に管理してください。**

お知らせ

- 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要です。
  ・タイマー設定　・週間スケジュール設定　・室外サイレントモード設定
  ・制限設定　　・省エネ設定　　・メニュー操作ロック設定
  各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

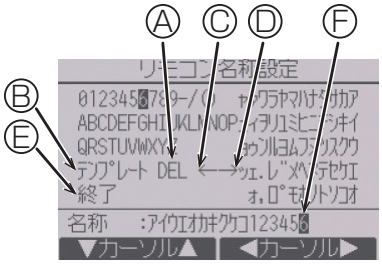
(5) リモコン名称設定

メイン画面に表示する、リモコン名称を設定します。リモコン名称は半角16文字まで入力できます（テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります）。



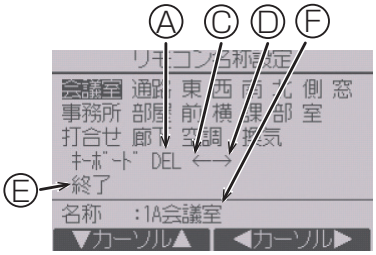
手順

1. **[F1]**～**[F4]** ボタンを押して変更する文字を選択し、**[決定]** ボタンを押して決定する。
   - 「←」Ⓒ「→」Ⓓを選択して、リモコン名称の文字入力カーソルⒻの文字の消去、変更ができます。
     決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」Ⓐを選択し **[決定]** ボタンを押します。
2. 入力が完了したら、「終了」Ⓔを選択する。
3. **[決定]** ボタンを押してリモコン名称を決定する。

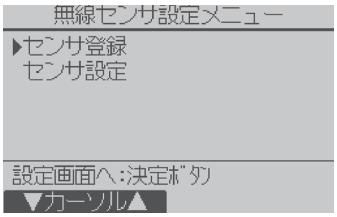


お知らせ

- テンプレートを使用して文字を入力することもできます
  （テンプレートの内容は変更できません）。
- テンプレートで入力する場合は、「テンプレート」Ⓑを選択して **[決定]** ボタンを押します。
- 文字の入力方法および入力した文字の削除方法は**手順 1.～3.** を参照してください。



(6) 無線センサ設定



当社指定の無線センサを接続し、室内温度やCO_2濃度値を無線センサから取得する場合に設定します。
無線センサはBluetooth環境センサ（※RS-BTEVS1-M）をご使用ください。
※ラトックシステム株式会社の製品です。

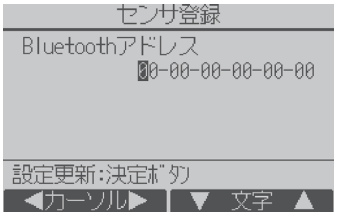
お願い

- **ラトックシステム株式会社がリリースしているスマートフォンアプリと無線センサの接続はしないでください。リモコンと無線センサの接続ができなくなります。**

無線センサ登録

接続する無線センサのBluetoothアドレスを登録します。

手順



1. **[F1]**～**[F4]**ボタンを押してBluetoothアドレスを入力します
（工場出荷時は「00-00-00-00-00-00」です）。
   - **[F1][F2]**：入力カーソルを左右に移動。
   - **[F3][F4]**：入力カーソル部の文字を変更。
2. **[決定]**ボタンを押して設定を更新する。
リモコンに無線センサが登録され、リモコンと無線センサが接続されます。

お知らせ

- Bluetoothアドレスは無線センサ本体を確認してください。
- リモコンと接続可能な無線センサの台数は1台です。
- 無線センサと接続するためには以下の項目を行ってください。
  - 無線センサの電源を入れてください。
  - Bluetoothアドレスが正しく入力されていることを確認してください。
  - リモコンのBluetooth設定をONにしてください。詳細は取扱説明書（Bluetooth® 設定編）を参照してください。

無線センサ設定

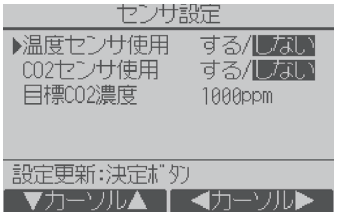
無線センサの使用に関する項目の設定をします。
各項目を設定後、**[決定]** ボタンを押して設定を更新します。

① 温度センサ使用

無線センサから室内温度を取得し、メイン画面に表示します。
無線センサの温度センサを室内ユニットの室温検知位置とする場合、室内ユニットの室温検知位置の設定をリモコンに設定してください。**室温検知位置が室内ユニットに設定されている場合は、無線センサの温度センサ使用の設定内容にかかわらず、室内ユニットで検知した室内温度を表示します。**室温検知位置の設定方法については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

手順

1. センサ設定の「温度センサ使用」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して設定する（工場出荷時は「しない」です）。
   - す　る：無線センサから室内温度を取得し、メイン画面に表示します。
   - しない：無線センサからは室内温度を取得しません。リモコンが検知した室内温度をメイン画面に表示します。



お知らせ

- 温度センサ使用を「する」に設定した場合、メイン画面に室内温度と「 」が表示されていることを確認してください。「 」が表示されない場合は、以下の項目を確認してください。
  - リモコンのBluetooth設定をONに設定しているか確認してください。詳細は取扱説明書（Bluetooth® 設定編）を参照してください。
  - 無線センサの電源が入っていることを確認してください。
  - 無線センサのBluetoothアドレスが正しく登録されているか確認してください。確認方法は指定のページを参照してください。「無線センサ登録（17ページ）」
  - 無線センサの設置場所を確認してください。リモコンと無線センサの間に遮蔽物が無いこと、距離が製品仕様範囲内であること等を確認してください。
  - 上記の確認項目を実施して「 」が表示されない場合は、無線センサのマニュアルを確認してください。
- 無線センサから室内温度を取得できない場合は、リモコンで検知した室内温度と「▬」を表示します。

② CO_2 センサ使用

手順

1. センサ設定の「CO_2 センサ使用」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して設定する（工場出荷時は「しない」です）。
   - す　る：無線センサからCO_2濃度値を取得し、センサ設定画面の「CO_2 現在値」およびメイン画面（取扱説明書参照）に表示します。
   - しない：センサ設定画面の「CO_2 現在値」およびメイン画面にはCO_2濃度値は表示されません。

お知らせ

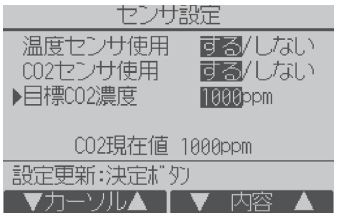
- CO_2 センサ使用を「する」に設定した場合、センサ設定画面の「CO_2 現在値」およびメイン画面に CO_2 濃度値が表示されていることを確認してください。
- 無線センサから取得した CO_2 濃度に応じて接続された換気装置の換気風量連動を行う場合は、本設定を「する」に設定してください。換気操作で「連動」が設定可能になります。

③ 目標 CO_2 濃度

無線センサから取得した CO_2 濃度が本項目で設定した値以上になると、メイン画面に表示している CO_2 濃度値が白黒反転で表示されます。本項目で設定した値未満になると通常表示に戻ります。

手順

1. センサ設定の「目標 CO_2 濃度」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して目標 CO_2 濃度値を設定する
（工場出荷時は「1000ppm」です）。
目標 CO_2 濃度は、800/1000/1400ppm から選択できます。



お知らせ

- 換気操作で「連動」を設定している場合、無線センサから取得した CO_2 濃度が本項目の設定値を超えないよう、接続されている換気装置の換気風量を自動的に切り換えます。
- CO_2 濃度の基準値は下記の通りです。

CO_2 濃度（ppm）	CO_2 濃度の目安
1000	一般の場合の許容濃度 建築基準法、建築物衛生法などの基準
1500	換気計算に使用される許容濃度 学校環境衛生基準の推奨濃度

④ CO_2 現在値
無線センサから取得した現在のCO_2濃度値を表示します。
CO_2濃度値はメイン画面にも表示されます。

お知らせ

- 無線センサからCO_2濃度値を取得できない場合は「----ppm」が表示されます。以下の項目を確認してください。
  - 無線センサの電源が入っていることを確認してください。
  - 無線センサのBluetoothアドレスが正しく登録されているか確認してください。確認方法は指定のページを参照してください。「無線センサ登録（17ページ）」
  - 無線センサの設置場所を確認してください。リモコンと無線センサの間に遮蔽物が無いこと、距離が製品仕様範囲内であること等を確認してください。
  - 上記の確認項目を実施しても「----ppm」が表示された場合は、無線センサのマニュアルを確認してください。

- CO_2現在値やメイン画面のCO_2濃度値に何も表示されない場合は、以下の項目を確認してください。
  - リモコンのBluetooth設定をONに設定しているか確認してください。詳細は取扱説明書（Bluetooth® 設定編）を参照してください。
  - CO_2センサ使用が「しない」に設定されていないか確認してください。「しない」に設定されている場合は「する」に設定してください。
    設定方法は指定のページを参照してください。「CO2センサ使用（19ページ）」

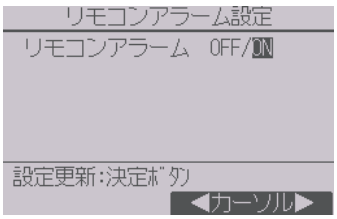
お知らせ

- 無線センサの使用環境や設置場所によっては、室内の実際のCO_2濃度値とずれが生じる可能性があります。計測器としては使用できません。
- Bluetooth機器がリモコンや無線センサの周辺に複数ある場合、リモコンと無線センサとの通信が正しくできないことがあります。
- CO_2センサ使用、目標CO_2濃度はCO_2濃度検知による換気風量の自動制御に関する設定機能です。取扱説明書に記載している「CO_2排出量表示」、「CO_2表示設定」は空調機のエネルギー使用量に基づくCO_2排出量の表示、または表示に関する設定であり、本機能とは別の機能となります。
- 無線センサに関する注意事項は無線センサのマニュアルを確認してください。

(7) リモコンアラーム設定

R32冷媒システムにおいて、冷媒漏えい異常を検知したときのリモコンアラームの設定を行います。

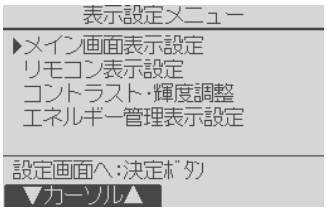
手順



1. **[F3]** または **[F4]** ボタンを押して、「OFF」/「ON」を選択する
   （工場出荷時は「ON」です）。
2. **[決定]** ボタンを押して設定を更新する。
   - OFF：R32冷媒システムにおいて、冷媒漏えい異常が発生しても警報を発しません。
   - ON ：R32冷媒システムにおいて、冷媒漏えい異常が発生した場合、警報を発します。

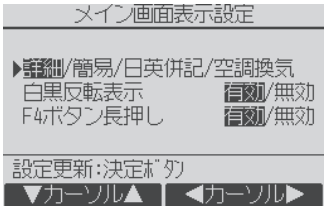
[2] 表示設定メニュー

(1) メイン画面表示設定

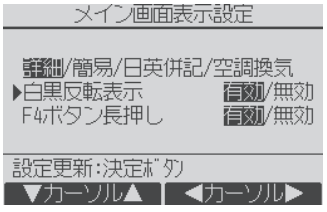


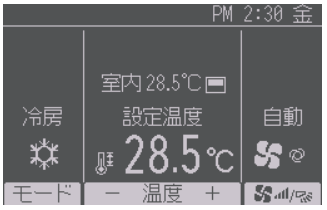
手順

1. 「詳細」/「簡易」/「日英併記」/「空調換気」にカーソルを合わせ **[F3] [F4]** ボタンを押してメイン画面表示を設定する
(工場出荷時は「詳細」です)。

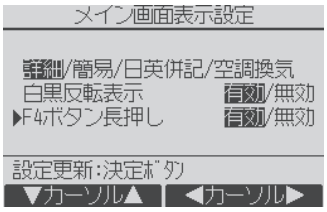


2. 白黒反転表示
[F1] [F2] ボタンを押して「白黒反転表示」を選択し、**[F3] [F4]** ボタンを押して「白黒反転表示」の「有効」「無効」いずれかを選択する。
工場出荷時は、「無効」です。
白黒反転表示で「有効」を設定すると文字と背景が白黒反転して表示されます。

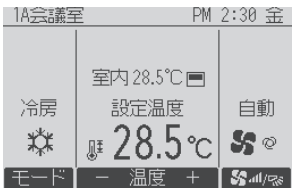




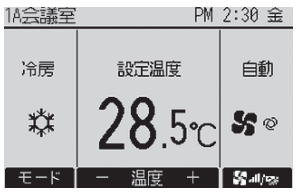
3. F4 ボタン長押し有効 / 無効設定
[F1] [F2] ボタンを押して「F4 ボタン長押し」を選択し、**[F3] [F4]** ボタンを押して「F4 ボタン長押し」の「有効」「無効」いずれかを選択する。
工場出荷時は、「有効」です。
[F4] ボタンを 1 秒以上押すと、風向・換気操作画面に切り替わります (人感ムーブアイ機能対応の場合、風向・ムーブアイ・換気操作画面に切り替わります)。



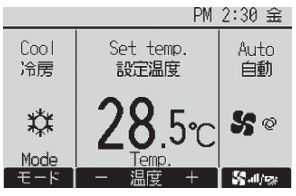
4. 各設定を設定した後に、**[決定]** ボタンを押す。



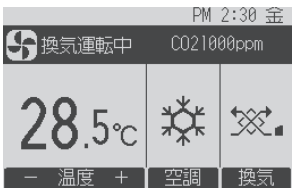
詳細 (例)



簡易 (例)



日英併記 (例)



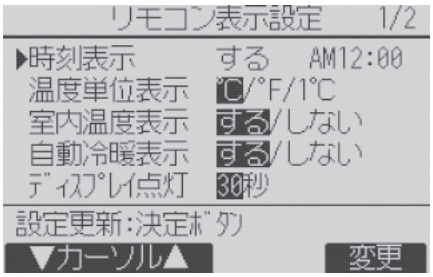
空調換気 (例)

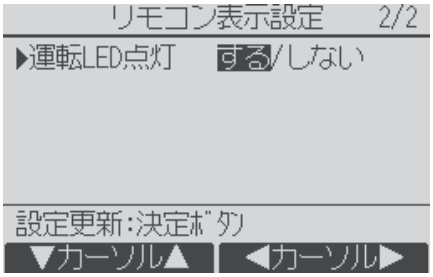
お知らせ

- 本設定により、メインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
- 簡易と日英併記と空調換気では「タイマー、スケジュールなどの（制御）状態を示すアイコン」や「風向・ルーバ・換気・室内温度」が表示されません。

(2) リモコン表示設定

リモコンの各表示に関する項目の設定をします。
各項目を設定後、**[決定]** ボタンを押して設定を更新します。

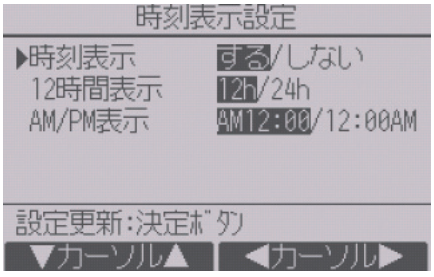




リモコン表示設定画面

時刻表示

手順



1. リモコン表示設定画面の「時刻表示」で **[F4]**（変更）ボタンを押す。
   時刻表示設定画面が表示されます。
2. **[F1]** ～ **[F4]** ボタンを押して、画面に表示する時刻表示の有無と表示形式を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押して設定を更新する
   （工場出荷時は時刻表示「する」、12時間表示「12h」、AM/PM表示「AM12:00」です）。

   時刻表示　：・する（画面に時刻を表示します）
   　　・しない（画面に時刻を表示しません）
   12時間表示　：・12h（12時間表示）　・24h（24時間表示）
   AM/PM表示（12時間表示のみ有効です）：
   　　・AM12:00（時刻の前にAM/PMを表示します）
   　　・12:00AM（時刻の後にAM/PMを表示します）

お知らせ

- 12時間表示、24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
  12時間表示、24時間表示の表示例は以下のとおりです。
  12時間表示：AM12:00～AM1:00～PM12:00～PM1:00～PM11:59
  24時間表示：　0:00～　1:00～　12:00～　13:00～　23:59

温度単位表示

手順

1. リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
   （工場出荷時は「℃」です）。

   ℃　：表示単位を摂氏にします。
   室内ユニットの種類により表示単位を0.5℃または1℃単位で表示します。
   °F　：表示単位を華氏にします。
   1℃：表示単位を摂氏（1℃単位）にします。

室内温度の温度表示

手順

1. リモコン表示設定画面の、「室内温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
   （工場出荷時は「する」です）。
   す　る：メイン画面に室内温度を表示します。
   しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ

- 「する」に設定しても、簡易、日英併記、空調換気には室内温度が表示されません。

自動冷暖表示

手順

1. リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
   （工場出荷時は「する」です）。
   す　る：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」を表示します。
   しない：自動モード運転時、「自動」のみを表示します。

ディスプレイ点灯

メイン画面のディスプレイ点灯時間を設定できます。

手順

1. リモコン表示設定画面の、「ディスプレイ点灯」にカーソルを合わせ、**[F4]** ボタンを押して設定する
   （工場出荷時は「30秒」です）。
   点灯時間は、5/10/20/30/60秒から選択できます。

運転LED点灯

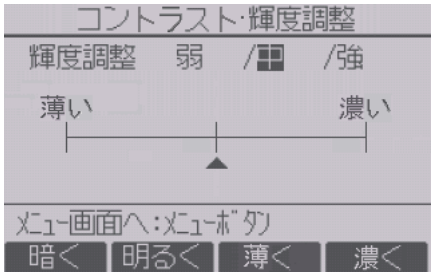
手順

1. 「運転LED点灯」にカーソルを合わせ、**[F3] [F4]** ボタンを押して、「する」/「しない」を設定する。
   工場出荷時は「する」です。「しない」に設定した場合、通常運転中も運転LEDが点灯しません。

(3) コントラスト・輝度調整

手順

1. [F1] [F2] ボタンを押してリモコンの輝度を調整する。
2. [F3] [F4] ボタンを押してコントラストを調整する。

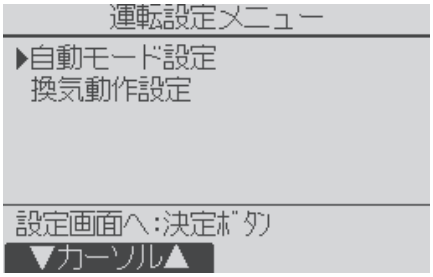


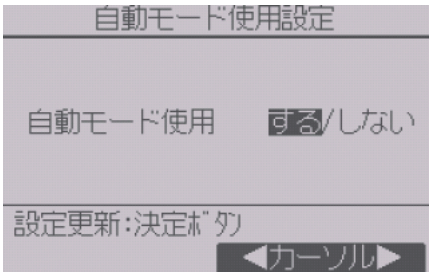
お知らせ

- 据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト・輝度を調整することで改善する場合があります。
  ただし、コントラスト・輝度調整を行っても全方向から見えやすくすることはできません。

[3] 運転設定メニュー

(1) 自動モード設定





手順

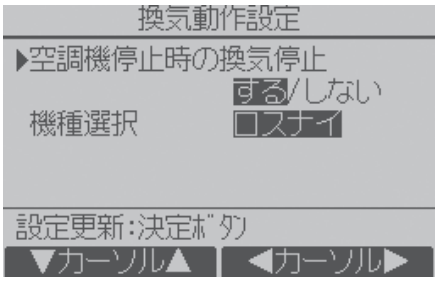
1. 自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用「する」/「しない」を **[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
   (工場出荷時は「する」です)。
2. **[決定]** ボタンを押して設定を更新する。
   す　る： 運転モード選択時に
   自動モードを表示します。
   しない： 運転モード選択時に自動モードを表示しません。

(2) 換気動作設定

換気機能に関する動作設定をします。
各項目を設定後、**[決定]** ボタンを押して設定を更新します。

1) 空調停止時の換気停止

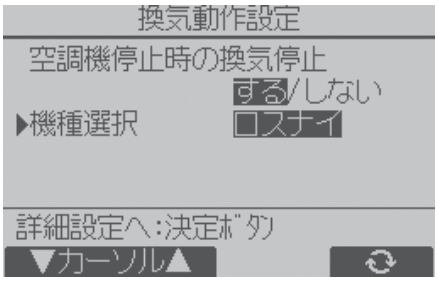
手順



1. 換気動作設定画面の「空調機停止時の換気停止」にカーソルを合わせる。
   換気装置が連動設定されている場合、空調機停止時の換気停止「する」/「しない」を **[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
   (工場出荷時は「する」です)。
   す　る： リモコンから空調機停止時に換気装置を停止します。
   しない： リモコンから空調機停止時に換気装置を運転継続します。

2) 機種選択 (スリムのみ)

手順

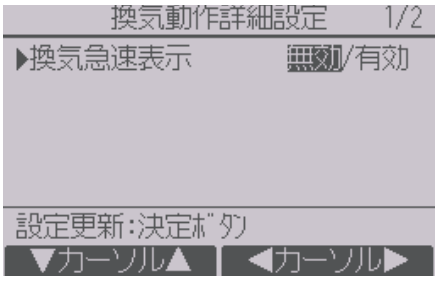


1. 換気動作設定画面の「機種選択」にカーソルを合わせ、**[F4]** ボタンを押して設定する
(工場出荷時は「ロスナイ」です)。
   ロスナイ : ロスナイ連動ケーブルで接続されているか、M-NET 経由でロスナイと連動設定しているとき
   IF 接続ロスナイ : 換気制御インターフェース経由でロスナイを接続しているとき
   風量２段 : 換気制御インターフェース経由で風量２段の換気扇を接続しているとき
   風量１段 : 換気制御インターフェース経由で風量１段の換気扇を接続しているとき

3) 換気動作詳細設定 (スリムのみ)

換気急速表示

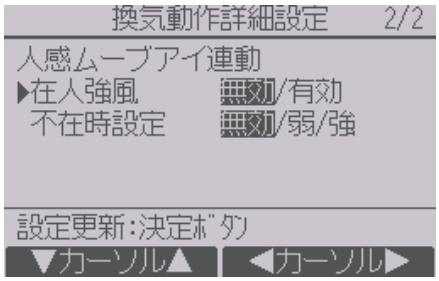
手順



1. 換気動作設定画面の「機種選択」で **[決定]** ボタンを押す。
換気動作詳細設定画面が表示されます。
2. 換気急速表示「無効」/「有効」を **[F3] [F4]** ボタンを押して設定する
(工場出荷時は「無効」です)。
   無効 : メイン画面に「急速換気中」を表示しません。
   有効 : 換気装置の換気風量が「強」になったとき、メイン画面に「急速換気中」を表示します。

人感ムーブアイ連動：在人強風

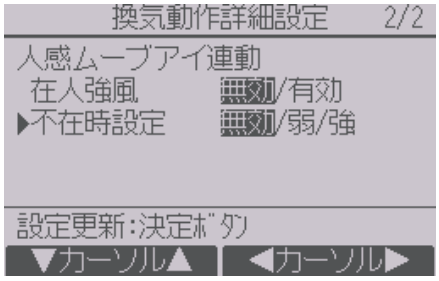
手順



1. **[F1] [F2]** ボタンを押して「在人強風」にカーソルを合わせる。
   [F3] [F4] ボタンを押して設定する（工場出荷時は「無効」です）。
   無効：在人を検知しても換気装置の換気風量を変更しません。
   有効：在人を検知した場合、換気装置の換気風量を「強」にします。

人感ムーブアイ連動：不在時設定

手順



1. 換気動作詳細設定画面の「不在時設定」にカーソルを合わせる。
   [F3] [F4] ボタンを押して設定する（工場出荷時は「無効」です）。
   無効：不在を検知しても換気風量を変更しません。
   弱：　室内に人がいない状態が連続で60分以上続いた場合、換気装置の換気風量を「弱」にします。
   強：　室内に人がいない状態が連続で60分以上続いた場合、換気装置の換気風量を「強」にします。

※ 機種選択の設定と接続機種により、換気動作詳細設定の設定画面が異なります。詳細は換気制御インターフェースの取扱説明書を参照してください。

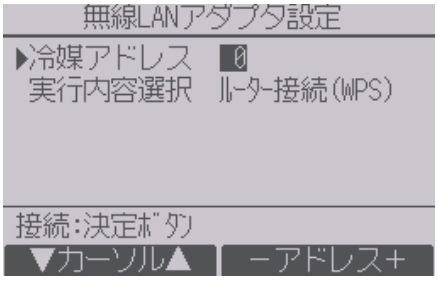
[4] 無線LANアダプタ設定（スリムのみ）

別売の無線LANアダプタを接続する場合のみ設定します。

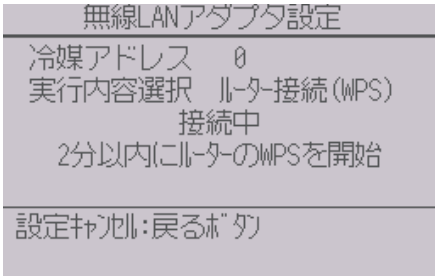
（1）ルーター接続

手順

1. **[F1] [F2]** ボタンを押して室内ユニットの「冷媒アドレス」、「実行内容選択」を選択し、**[F3] [F4]** ボタンを押して希望の設定に切り替える。
   - 冷媒アドレス：0～15
   - 実行内容選択：ﾙｰﾀｰ接続 (WPS) ／ﾙｰﾀｰ接続 (AP)

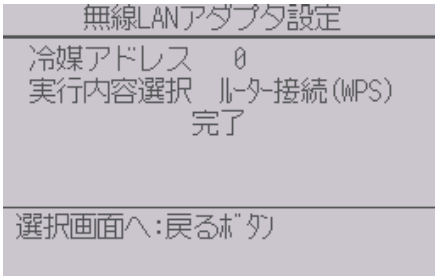


2. **[決定]** ボタンを押す。
   「接続中」と表示されます。
   ﾙｰﾀｰ接続 (WPS)　：2分以内にルーターのWPSボタンを押してください。



   ﾙｰﾀｰ接続 (AP)　：10分以内にMELfloからネットワーク設定を実施してください。

   ルーター接続が完了すると「完了」が表示されます。
   「完了」以外が表示された場合は接続状態を確認して再度**手順 1.**から操作してください。
   または無線LANアダプタの説明書を参照してください。



点検メニュー「要求コード送信」から、以下の表示・設定が可能です。

機能	要求コード	送信結果
無線 LAN アダプタの状態表示	504	状態に応じて以下が表示されます。 00：未接続、アダプタリセット状態、 アダプタ工場出荷リセット状態 01：WPS モード 02：AP モード 03：接続中
無線 LAN アダプタのリセット	505	アダプタリセット完了後「データ送信完了」が表示されます。
無線 LAN アダプタの工場出荷リセット	506	アダプタリセット完了後「データ送信完了」が表示されます。

お知らせ

- 設定する場合は空調機を停止させてください。

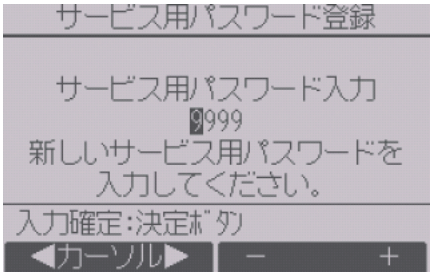
3-4. サービスメニュー

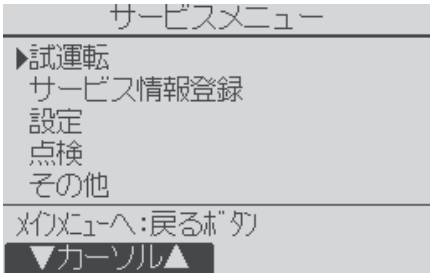
〈サービス用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作をします。

手順

1. サービスメニューを選択する。
   パスワード入力画面が表示されます。
2. 現在設定されているサービス用のパスワード（数字４桁）を入力する。
3. **[F1] [F2]** ボタンを押して桁を選択し、**[F3] [F4]** ボタンを押して０～９の数字を設定する。
4. ４桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押す。
   パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。





お願い

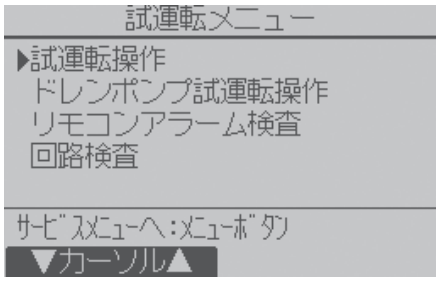
- **サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定を変更しないように、パスワードを変更してください。**
- **パスワードは必要な方が分かるように適切に管理してください。**

お知らせ

- サービスメニューの項目によっては空調機を停止させてください。
  また、集中管理中はリモコンの操作ができない場合があります。

[1] 試運転（マルチ / スリム共通）

手順



1. サービスメニューで「試運転」を選択する。
   試運転メニュー画面が表示されます。
   - 試運転操作：試運転をします。
   - ドレンポンプ試運転操作：
     室内ユニットに搭載しているドレンポンプの試運転をします。
     試運転に対応している室内ユニットのみ有効です。
   - リモコンアラーム検査：リモコンのアラームを開始 / 停止します。
   - 回路検査：詳細はビル用マルチエアコン 施工 / サービスマニュアル（R32 冷媒対応）を参照してください。

お知らせ

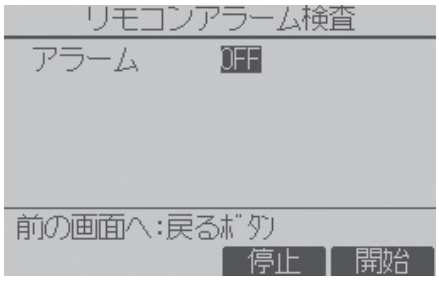
- 試運転の詳細は、室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

（1）リモコンアラーム検査

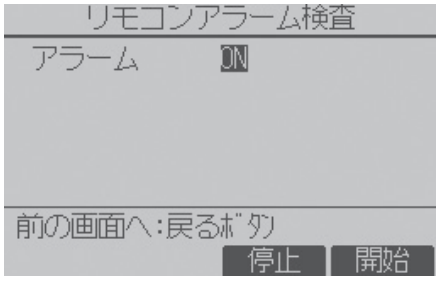
リモコンのアラームをON/OFFします。

手順

1. **[F4]** ボタンを押すと、警報音が鳴り、運転LEDとバックライトが点滅し、OFF表示がONに切り替わります。



2. **[F3]** ボタンを押すと、警報音が停止、運転LEDとバックライトの点滅が終了し、ON表示がOFFに切り替わります。

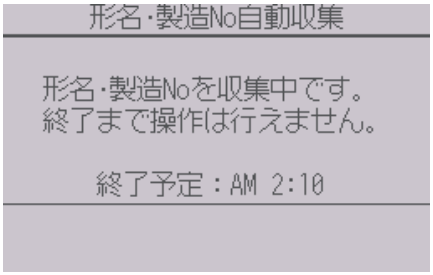


[2] 形名・製造No.収集（スリムのみ）

室外、室内ユニットの形名と製造番号をリモコンに表示することができます。

（1）自動収集

リモコンを据え付け後、AM2:01 に形名・製造No.の自動収集を行います。自動収集開始後、自動収集中画面を表示します。自動収集完了後、メイン画面に戻ります。



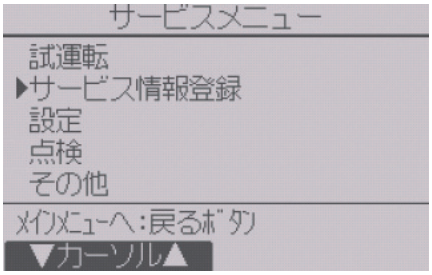
お知らせ

- 以下の場合、自動収集を実行しません。
  - メイン画面以外を表示中
  - 形名・製造No.登録済み
  - 運転中
  - 時刻未設定
  - 従リモコン

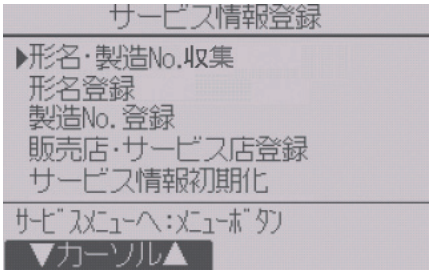
(2) 手動収集

手順

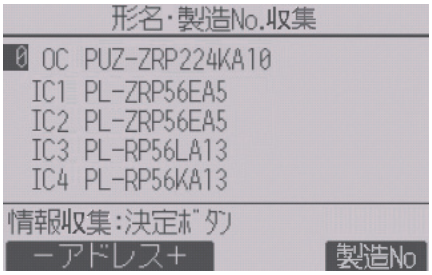
1. サービスメニューで「サービス情報登録」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。



2. サービス情報登録画面から「形名・製造No.収集」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。



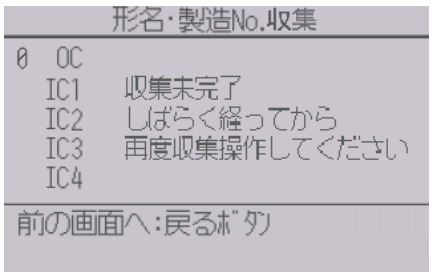
形名・製造No.収集完了後、リモコンに形名が表示されます。
[F4] を押すと形名と製造No.の表示が切り替わります。



形名の表示例

お知らせ

- 電源投入直後は、形名・製造No.の収集ができません。
  約10分経過してから操作してください。
- 機能選択を行った場合や、異常発生時は10分以上かかる場合があります。
- リモコンでの収集操作には約1分かかる場合があります。
- 室内ユニットによっては、本機能を使用できない場合があります。
  詳細はカタログを参照してください。



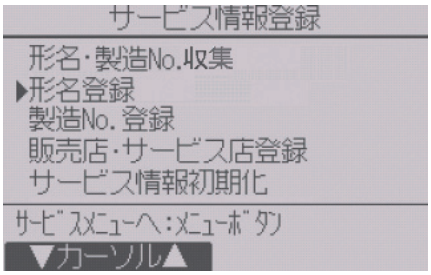
電源投入後、約10分間は収集できません

[3] サービス情報登録

スリムにおけるサービス情報を登録することができます。マルチにおける登録方法は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

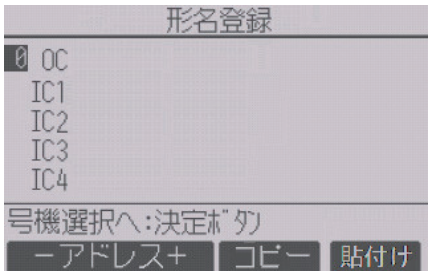
手順

1. サービスメニューで「サービス情報登録」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
2. サービス情報登録画面から「形名登録」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。



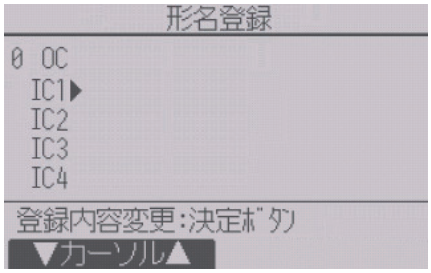
「形名登録」を選択

3. **[F1][F2]** ボタンで登録する冷媒アドレスを選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   冷媒アドレス：0～15
   ※ 接続されている冷媒のみ選択できます。



冷媒アドレスの選択

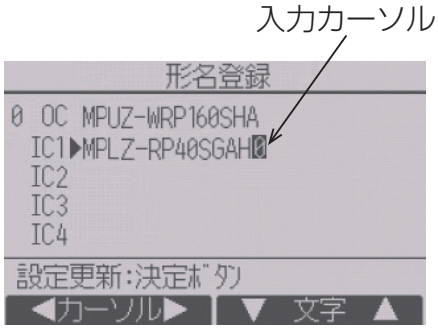
4. **[F1][F2]** ボタンで登録するユニット（OC、IC1～4）を選択し、**[決定]** ボタンを押す（OC:室外ユニット、IC1～4:室内ユニット）。
   ※ IC1～4は、接続されている空調機タイプ（シングル、ツイン、トリプル、フォース）により表示が異なります。



OC、IC の選択

5. **[F1]**～**[F4]** ボタンを押して形名を入力し、入力完了後 **[決定]** ボタンを押す。
   - **[F1][F2]**: 入力カーソルを左右に移動。
   - **[F3][F4]**: 入力カーソル部の文字選択。

   ※ 形名は最大25文字まで入力できます。



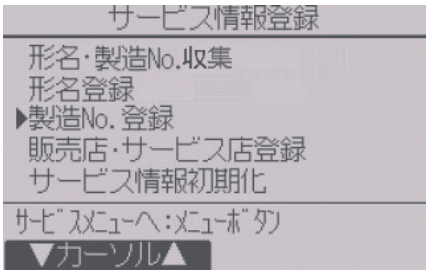
形名の入力

6. **手順4.～5.**の操作を繰り返し、選択した冷媒アドレスの室外、室内ユニット形名を登録する。
   冷媒アドレスを変更する場合は、**手順4.**の画面で**[戻る]**ボタンを押し、**手順3.**の画面に戻って冷媒アドレスの選択をしてください。

（上手な使い方）
登録した形名情報を冷媒アドレス単位でコピー、貼り付けることができます。

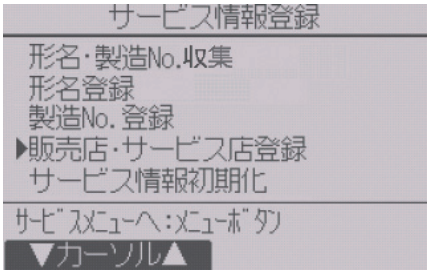
- **手順3.**で**[F3]**ボタンを押し、選択している冷媒アドレスの形名情報をコピーします。
- **手順3.**で**[F4]**ボタンを押し、コピーした形名を選択している冷媒アドレスに上書きします。

7. **手順2.**で「製造No.登録」を選択し、**[決定]**ボタンを押す。
8. **手順3.～6.**の要領で製造番号を登録する。
   製造番号は最大15文字まで入力できます。



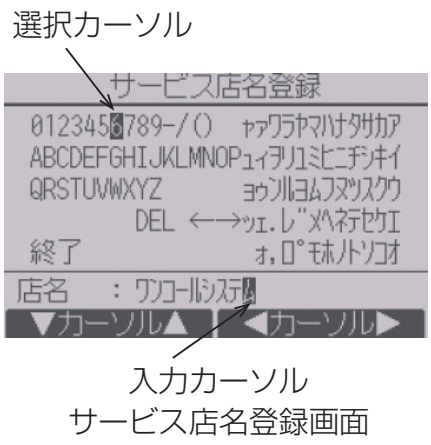
「製造No.登録」を選択

9. サービス情報登録画面から「販売店・サービス店登録」を選択し、**[決定]**ボタンを押す。



「販売店・サービス店登録」を選択

10. **[F1] [F2]** ボタンで登録する項目（「販売店」「販売店 TEL NO」「サービス店」「サービス店 TEL NO」）を選択後、**[決定]** ボタンを押し、情報を入力する。



サービス店名登録画面

「販売店」「サービス店」入力方法

- **[F1]** ～ **[F4]** ボタンで選択カーソルを移動し、入力文字を選択します。
- **[決定]** ボタンで選択カーソルが示す文字を入力カーソル部に入力します。入力カーソルを移動させたいときは、選択カーソルで「←」「→」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。
- 入力文字を消したいときは、選択カーソルで「DEL」を選択し **[決定]** ボタンを押す。入力が終わったら選択カーソルで「終了」を選択し、**[決定]** ボタンを押すと、入力内容を記憶して前の画面に戻ります。

※ 店名は最大 10 文字、電話番号は最大 13 文字まで入力できます。

「TEL NO」入力方法

[F1] ～ **[F4]** ボタンで数字を入力し、入力が完了したら **[決定]** ボタンを押します。

- **[F1] [F2]**: 入力カーソルを左右に移動
- **[F3] [F4]**: 入力カーソル部の文字選択

※ TEL NO は最大 13 文字まで入力できます。

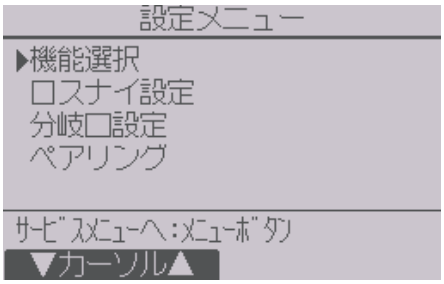
お知らせ

- 「サービス情報初期化」で登録した形名・販売店・サービス店の内容をすべて初期化することができます。

[4] 機能選択

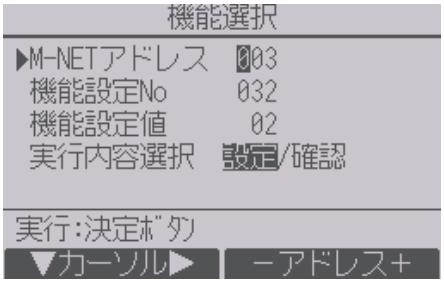
(1) マルチ

必要に応じて各室内ユニットの機能を設定します。
設定メニューで「機能選択」を選択すると、機能選択画面が表示されます。

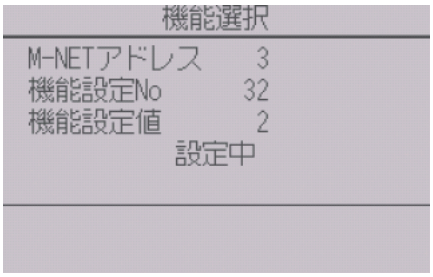


手順

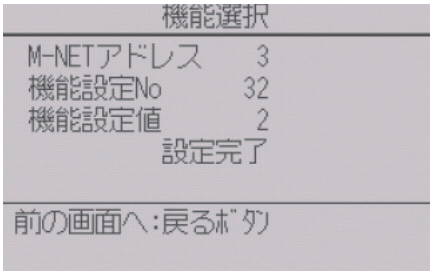
1. **[F1]** ボタンで室内ユニットの「M-NETアドレス」、「機能設定No」、「機能設定値」を選択後、**[F2]** ボタンで桁を選択し、**[F3]** **[F4]** ボタンを押して希望の設定に切り替える。
2. 「実行内容選択」で「設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   設定情報送信画面が表示されます。



現在の設定値を確認する場合は、確認したい室内ユニットの「M-NETアドレス」、「機能設定No」を設定し、「実行内容選択」で「確認」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。
確認中画面が表示され、確認が完了すると機能設定値が表示されます。

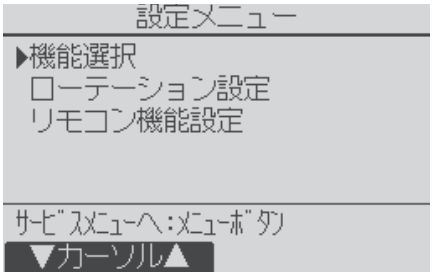


送信が完了すると設定完了画面が表示されます。
続けて設定を行う場合、**[戻る]** ボタンを押すと**手順 1.**の画面に戻ります。
同様の手順で他の室内ユニット、機能設定Noの設定をします。



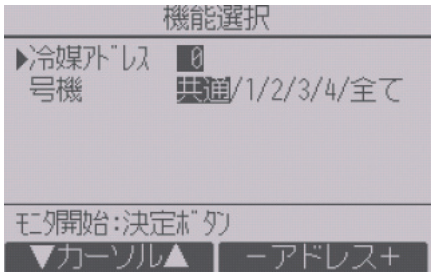
(2) スリム

リモコンから必要に応じて各室内ユニットの機能を設定します。
設定メニューで「機能選択」を選択すると、機能選択画面が表示されます。



手順

1. **[F1]** ～ **[F4]** ボタンを押して接続されている室内ユニットの冷媒アドレス・号機を設定する。
2. **[決定]** ボタンを押して現在の設定を表示確認する。
   対象号機は機能選択モードに準じて選択してください。詳細は指定のページを参照してください。「スリム機能設定内容（43ページ）」



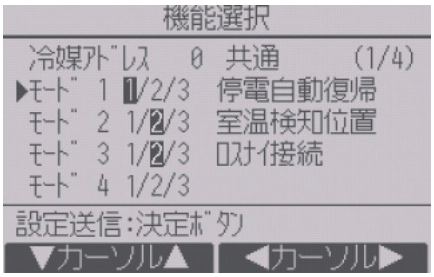
〈室内ユニットの号機確認〉

対象号機の室内ユニットは送風運転します。
対象号機が「共通、全て」の場合は、選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

室内ユニットによって、表示形式、設定方法が異なります。

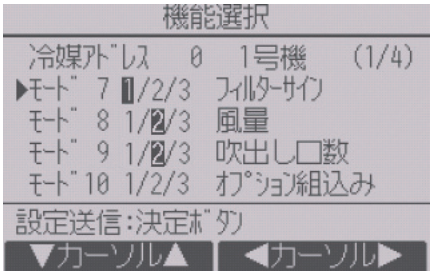
パターン 1

室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。反転表示が無いモードは機能が無いことを表しています。
号機で指定した共通・号機によりモニタ結果画面が異なります。



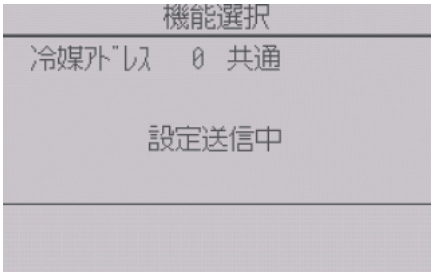
共通項目

3. **[F1] [F2]** ボタンを押してモード番号を選択する。
4. **[F3] [F4]** ボタンを押して設定番号を変更する。



個別（1号機～4号機）項目

5. 変更するすべてのモード番号の設定が完了したら、**[決定]** ボタンを押す。
   リモコンから室内ユニットへ設定内容を送信します。

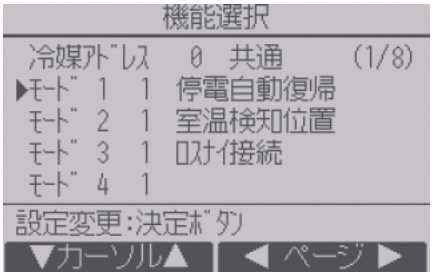


通信が完了すると、最初の機能選択画面に戻ります。

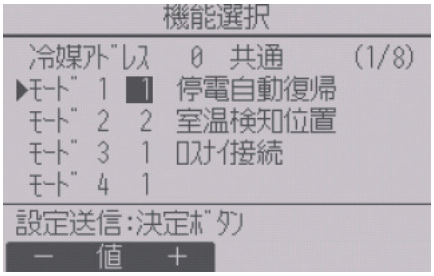
パターン2

室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。設定番号が表示されていないモードは機能が無いことを表しています。

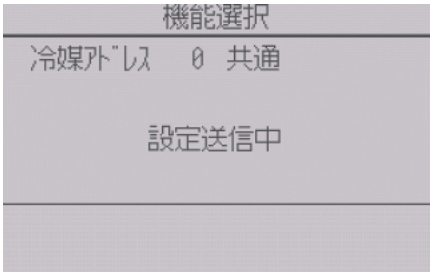
3. **[F3] [F4]** ボタンを押してページを変更する。
4. **[F1] [F2]** ボタンを押してモード番号を選択する。
5. 変更したいモード番号で **[決定]** ボタンを押す。
   設定番号が反転表示されます。



6. **[F1] [F2]** ボタンを押して設定番号を選択する。
   モード1～28:1～3の範囲で設定
   モード31～66:1～15の範囲で設定



7. 変更するすべてのモード番号の設定が完了したら、**[決定]** ボタンを押す。
   リモコンから室内ユニットへ設定内容を送信します。



通信が完了すると、最初の機能選択画面に戻ります。

お願い

- **スリムで変更が必要な場合のみ設定してください。**
- **下表は代表的なスリムのモード番号の設定内容です。室内ユニットの出荷設定内容・モード番号・設定番号についての詳細は「室内ユニットの据付工事説明書」を参照してください。**
- **工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、全設定内容を別紙に記録するなど、設定状態を管理してください。**

スリム機能設定内容

モード No.	モード	設定内容	設定番号	対象号機
01	停電自動復帰	無し	1	号機「共通」1 を選択します。全室内ユニットに対して設定を行う項目です。
		有り	2	
02	室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	1	
		リモコン接続室内ユニット固定	2	
		リモコン内蔵センサ	3	
03	ロスナイ接続	接続無し	1	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）	2	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ有り）	3	
06	自動モード設定温度切替	シングルオートモード	1	
		デュアルオートモード	2	
16	加湿器制御切替	定時	1	
		常時	2	
17	霜取制御切替	標準	1	
		北陸仕様	2	
07	フィルタークリーニングサイン	100 時間	1	号機「1 ～ 4､全て」を選択して設定します。 各室内ユニットに対して設定を行う項目です。 ・「1 ～ 4」号機を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォースの各室内ユニットごとに設定します。 ・「全て」を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォースの各室内ユニットすべて同一に設定します。
		2500 時間	2	
		表示無し	3	
08	風量	静音（または標準）	1	
		標準（または 高天井①）	2	
		高天井（または 高天井②）	3	
09	吹出し口	4 方向	1	
		3 方向	2	
		2 方向	3	
10	オプション組込（高性能フィルター）	無し	1	
		有り	2	

[5] ロスナイ設定（マルチのみ）

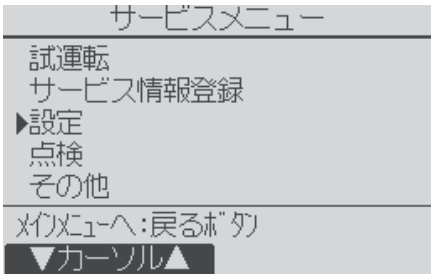
マルチでロスナイとの連動運転を行う場合のみ設定します。スリムでは設定できません。
リモコンが接続されている室内ユニットに対して設定（ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消）を行うことができます。

お願い

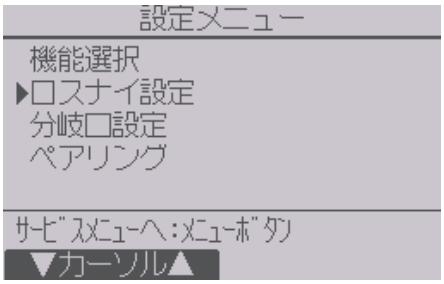
- **システムコントローラを接続される場合は、システムコントローラで設定してください。**
- **ロスナイと連動設定させる場合、グループ内すべての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。**

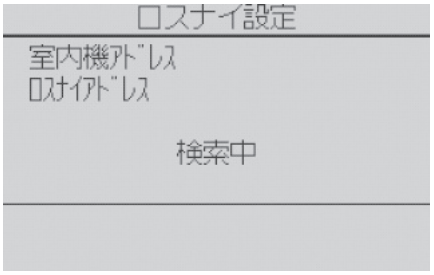
手順

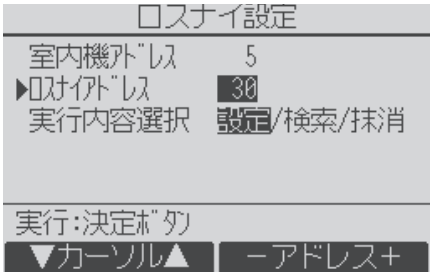
1. 「サービスメニュー」→「設定」メニューを選択する。



2. 設定メニューで「ロスナイ設定」を選択する。
自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されているロスナイのアドレスを検索します。
検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスが表示されます。ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

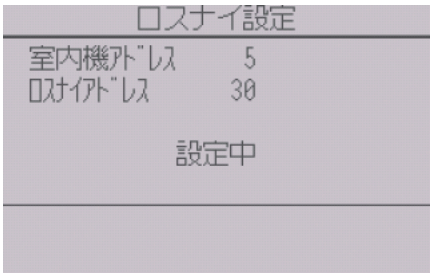




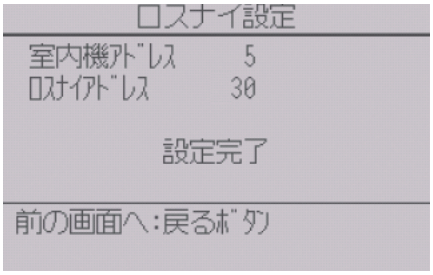


3. 設定する必要がなければ、**[戻る]** ボタンを押す。
「設定メニュー」に戻ります。

(1) ロスナイを登録する場合



設定中



正常終了

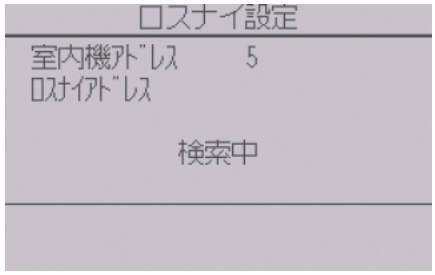
手順

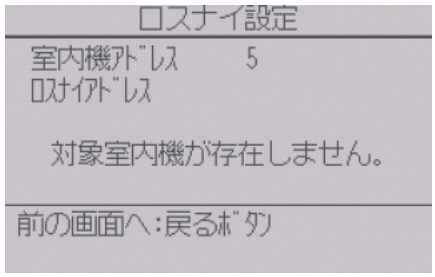
1. 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを **[F1]**～**[F4]** ボタンを押して設定する。
2. 「実行内容選択」で「設定」を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押す。
   「設定中」と表示されます。正常に設定完了すると、「設定完了」と表示されます。

(2) ロスナイアドレスを検索する場合

手順

1. リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定する。
2. 「実行内容選択」で「検索」を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押す。
   「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスが表示されます。
   ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。
   指定したアドレスの室内ユニットが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません。」と表示されます。



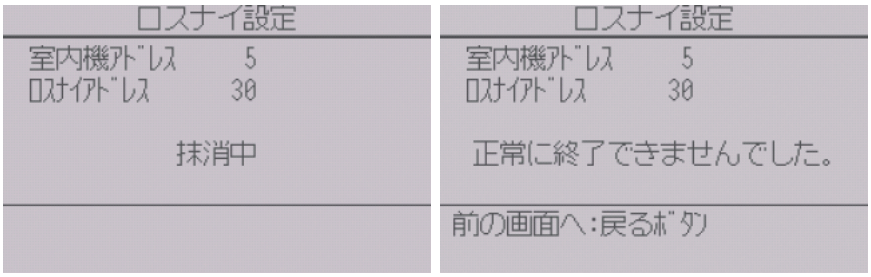


(3) ロスナイの登録を解除する場合

リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。

手順

1. 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを **[F1]** ～ **[F4]** ボタンを押して設定する。
2. 「実行内容選択」で「抹消」を選択する。
3. **[決定]** ボタンを押す。



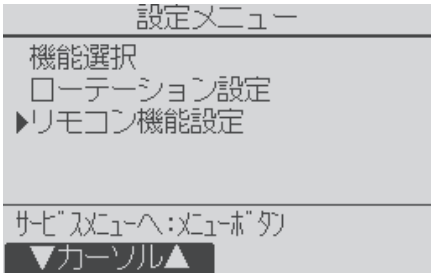
「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません。」と表示されます。
ロスナイの登録の解除が正常に行われなかった場合は、「正常に終了できませんでした。」と表示されます。

[6] リモコン機能設定（スリムのみ）

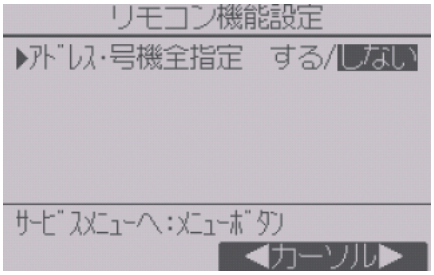
冷媒アドレス･号機を指定する画面で、実際に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないときに本設定をしてください。

手順

1. 設定メニューで「リモコン機能設定」を選択する。



2. **[決定]** ボタンを押す。
   リモコン機能設定画面が表示されます。



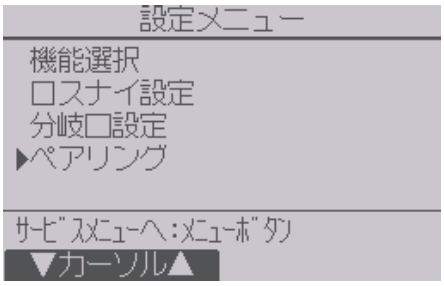
3. アドレスおよび号機の全指定「する」/「しない」を **[F3] [F4]** ボタンを押して選択する。
4. 選択後、**[メニュー]** ボタンを押してサービスメニュー画面に戻る
   （工場出荷時設定は「しない」です）。
   - す　る：実際に接続している室内ユニットに無関係に全アドレス・全号機への設定操作をします。
   - しない：実際に接続している室内ユニットのアドレス・号機のみに対し設定操作をします。

[7] ペアリング（マルチのみ）

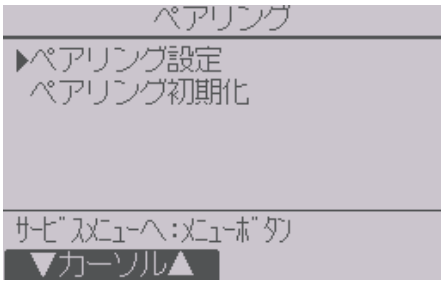
室内ユニットとフロンガス警報器をペアリングすることができます。
室内ユニットがペアリング機能に非対応の場合は設定を受け付けません。

手順

1. 設定メニューで「ペアリング」を選択する。



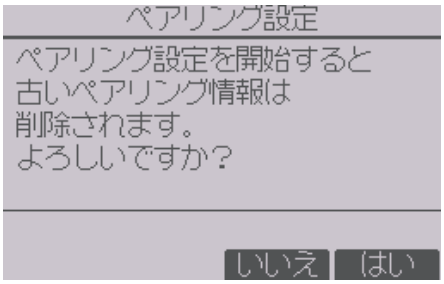
2. **[決定]** ボタンを押す。
   ペアリングメニュー画面が表示されます。



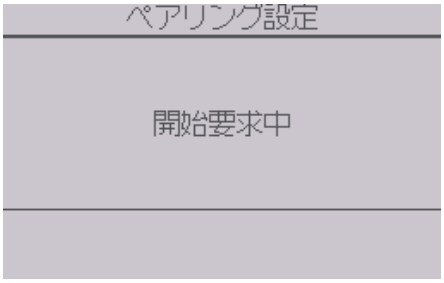
(1) ペアリングを設定する場合

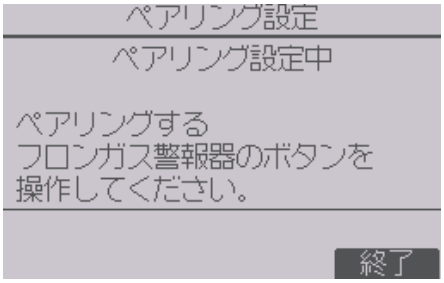
手順

1. ペアリングメニュー画面で「ペアリング設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。

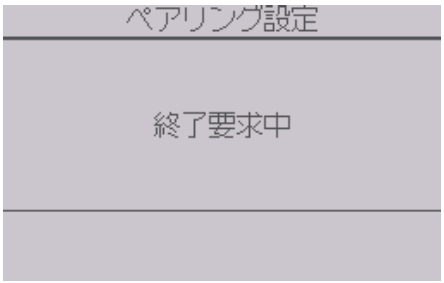


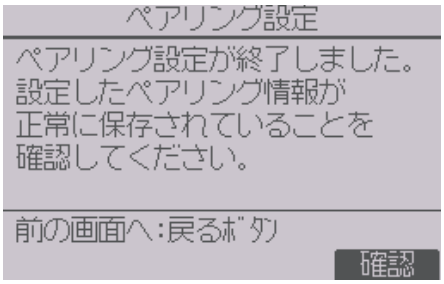
2. ペアリング設定画面で **[F4]**(はい) ボタンを押す。
   正常に終了すると、「ペアリングするフロンガス警報器のボタンを操作してください」とメッセージが表示され、「ペアリング設定中」が点滅表示されます。





3. フロンガス警報器の操作が完了し、**[F4]**(終了) ボタンを押す。
   正常に設定が完了すると、「ペアリング設定が終了しました。設定したペアリング情報が正常に保存されていることを確認してください」とメッセージが表示されます。**[F4]**(確認) ボタンを押すと、システム構成確認画面へ遷移します。
   [戻る] ボタンを押すと、ペアリングメニュー画面に戻ります。

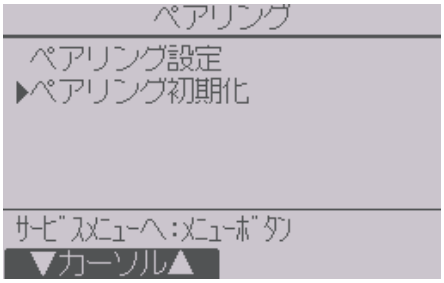




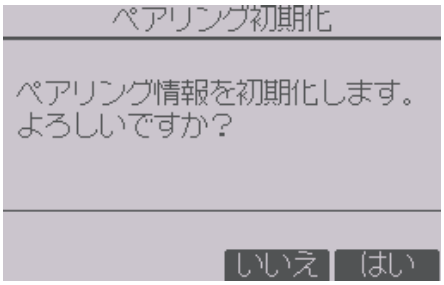
(2) ペアリングを初期化する場合

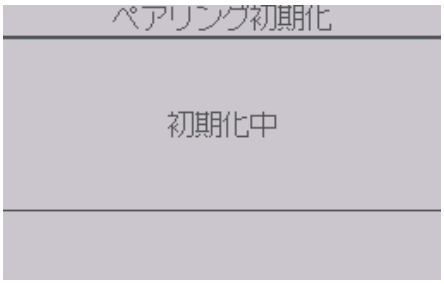
手順

1. ペアリングメニュー画面で「ペアリング初期化」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。

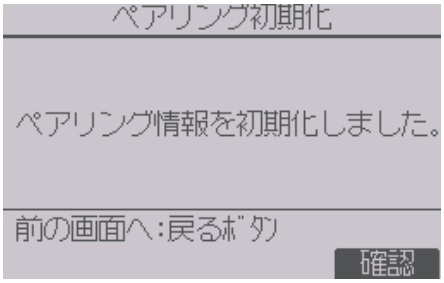


2. ペアリング初期化画面で **[F4]**(はい) ボタンを押す。
「初期化中」とメッセージが表示され、初期化を開始します。





3. 正常に初期化が完了すると、「ペアリング情報を初期化しました」とメッセージが表示されます。
[F4](確認) ボタンを押すと、システム構成確認画面へ遷移します。**[戻る]** ボタンを押すと、ペアリングメニュー画面に遷移します。

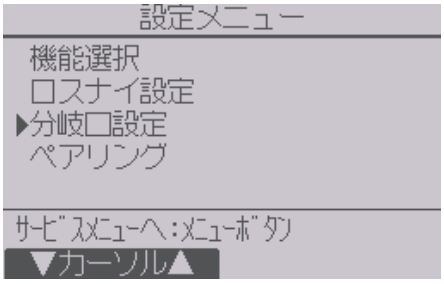


[8] 分岐口設定 (マルチのみ)

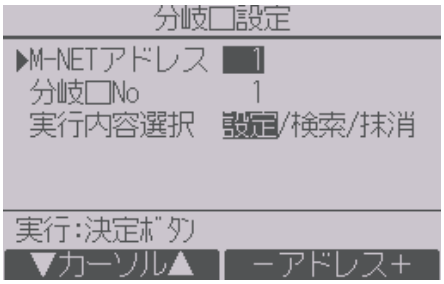
室内ユニットがどの分岐口に接続されているか明確にするために、室内ユニットと分岐口を紐づけることができます。
室内ユニットが分岐口設定機能に非対応の場合はエラーメッセージを表示します。

手順

1. 設定メニューで「分岐口設定」を選択する。
   自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されている分岐口No.を検索します。
   検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスが表示されます。



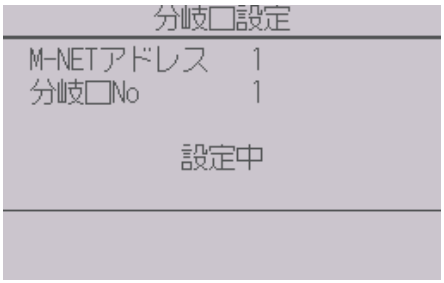
2. 設定する必要がなければ、**[戻る]** ボタンを押す。
   「設定メニュー」に戻ります。



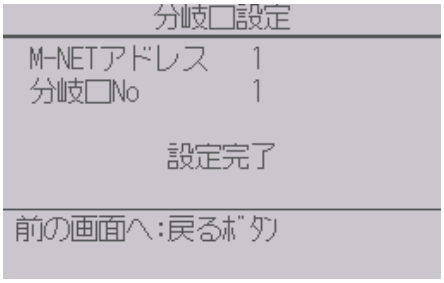
(1) 分岐口No.を設定する場合

手順

1. 室内ユニットのアドレスと分岐口No.を **[F1]**～**[F4]** ボタンを押して設定する。
2. 「実行内容選択」で「設定」を選択する。



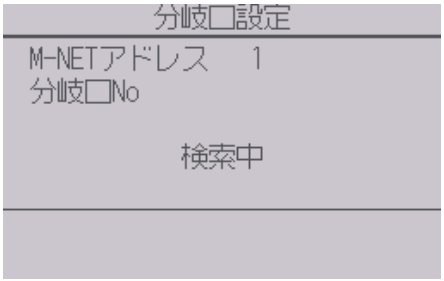
3. **[決定]** ボタンを押す。
「設定中」と表示されます。正常に設定完了すると、「設定完了」と表示されます。



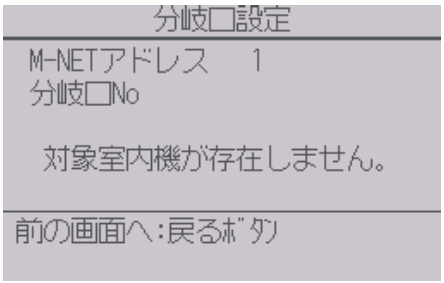
(2) 分岐口No.を検索する場合

手順

1. リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定する。
2. 「実行内容選択」で「検索」を選択する。



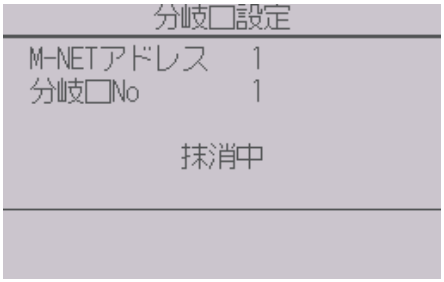
3. **[決定]** ボタンを押す。
「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスと分岐口No.が表示されます。
指定したアドレスの室内ユニットが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません。」と表示されます。



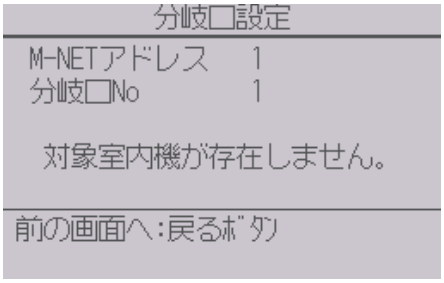
(3) 分岐口No.の登録を削除する場合

手順

1. 室内ユニットのアドレスと分岐口No.を **[F1]**～**[F4]** ボタンを押して設定する。
2. 「実行内容選択」で「抹消」を選択する。



3. **[決定]** ボタンを押す。
「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません。」と表示されます。

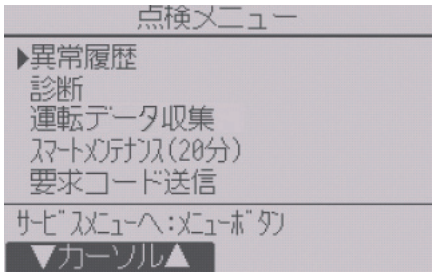


[9] 点検

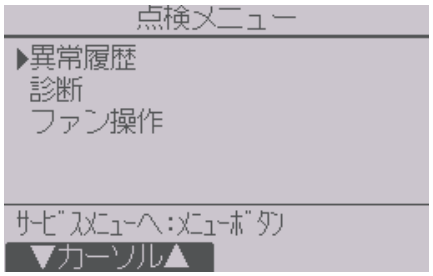
手順

1. サービスメニューで「点検」を選択する。
   点検メニュー画面が表示されます。
   接続されている室内ユニットがマルチかスリムかにより、表示されるメニューが異なります。

〈スリム〉



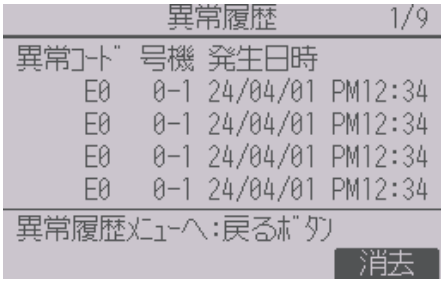
〈マルチ〉



(1) 異常履歴の表示

手順

1. 異常履歴メニューで「異常履歴」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
   異常履歴が最大36件表示されます。
   （古い順に自動で消去されます）
   各ページに4件ずつ表示され、1/9ページの表示が最新の異常履歴です。

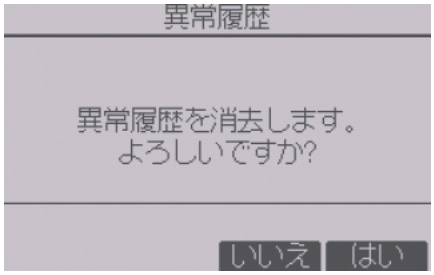


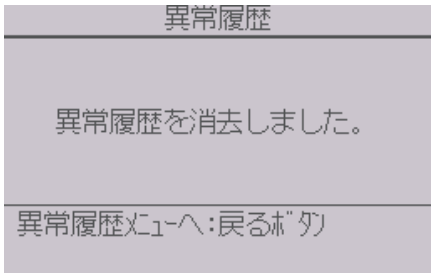
※ 管理人室リモコンでは冷媒漏えいに関する異常とリモコン自身が検知した異常の履歴のみ表示します。

(2) 異常履歴の消去

手順

1. 異常履歴が表示されている画面で **[F4]**（消去）ボタンを押す。
   異常履歴消去の確認画面が表示されます。
2. **[F4]**（はい）ボタンを押す。
   「異常履歴を消去しました」と表示されます。
3. **[戻る]** ボタンを押す。
   異常履歴メニュー画面に戻ります。

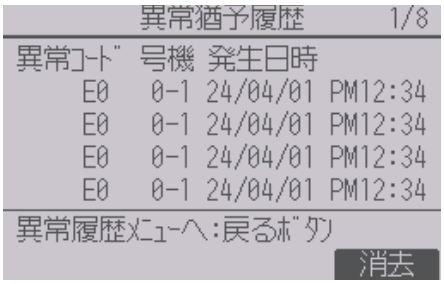




(3) 異常猶予履歴の表示（スリムのみ）

手順

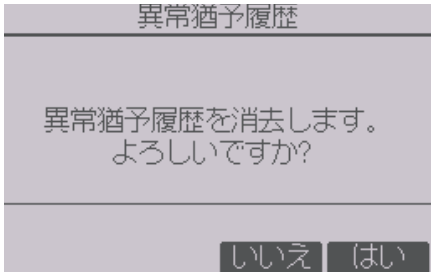
1. 異常履歴メニューで「異常猶予履歴」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
   異常猶予履歴が最大 32 件表示されます。
   （古い順に自動で消去されます）
   各ページに４件ずつ表示され、1/8 ページの表示が最新の異常猶予履歴です。

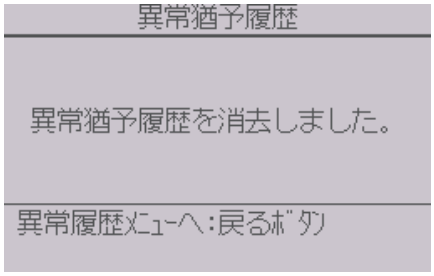


(4) 異常猶予履歴の消去 (スリムのみ)

手順

1. 異常猶予履歴が表示されている画面で **[F4]** (消去) ボタンを押す。
   異常猶予履歴消去の確認画面が表示されます。
2. **[F4]** (はい) ボタンを押す。
   「異常猶予履歴を消去しました」と表示されます。
3. **[戻る]** ボタンを押す。
   異常履歴メニュー画面に戻ります。



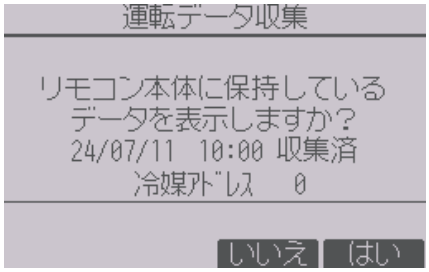


(5) 運転データ収集機能 (スリムのみ)

運転データ収集機能により、現在の運転状態のデータ 16 項目を同時に表示することができます。

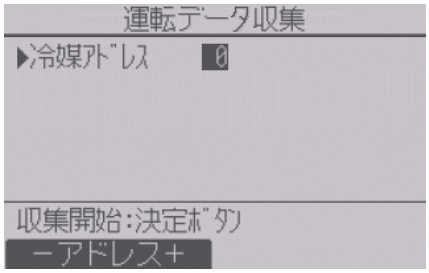
手順

1. 点検メニューで「運転データ収集」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   または試運転中に **[メニュー]** ボタンを押す。

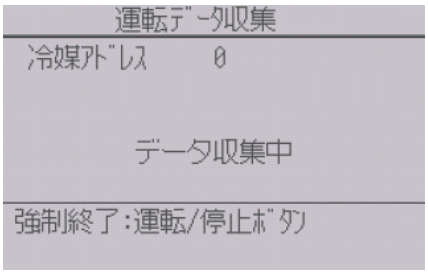


2. <前回収集したデータを保持している場合>
   前回収集日時・冷媒アドレスが表示されます。
   [F4] (はい) ボタンを押すと、収集済みの運転データが表示されます。
   [F3] (いいえ) ボタンを押すと、冷媒アドレス選択画面が表示されます。

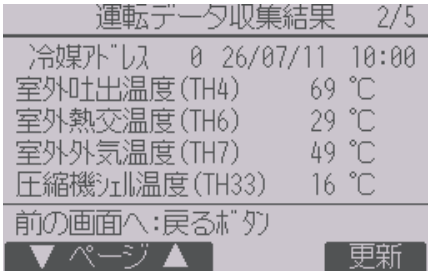
   <前回収集したデータを保持していない場合>
   冷媒アドレス選択画面が表示されます。



3. データ収集をしたい空調機の「冷媒アドレス」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
- 冷媒アドレス：0～15



運転データが表示されます。
[F1] [F2] ボタンでページを移動します。
[F4] ボタンを押すと運転データを更新します。
[メニュー] ボタンを押すと、点検メニューから遷移した場合はサービスメニュー画面に、試運転中に遷移した場合は試運転メニュー画面に戻ります。



お知らせ
- 室外ユニットとの組み合わせにより一部機種は対応しておりません。本機能の有無は、カタログで確認してください。

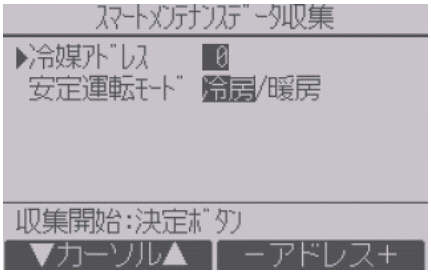
(6) スマートメンテナンス機能（スリムのみ）

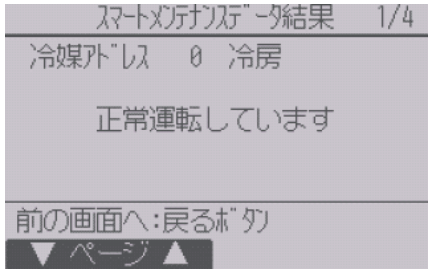
スマートメンテナンス機能により、運転周波数を固定し、運転を安定させることで室外、室内ユニットの運転状態を自動で診断することができます。

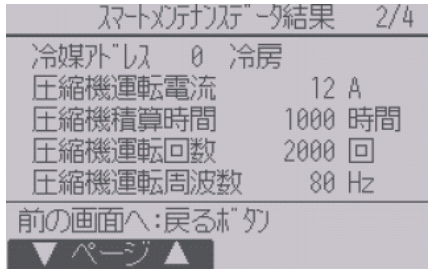
手順

1. 点検メニューで「スマートメンテナンス」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
2. データ収集をしたい空調機の「冷媒アドレス」、「安定運転モード」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   - 冷媒アドレス：0～15
   - 安定運転モード：冷房／暖房安定運転が開始されます。
     安定運転中は「安定中→データ収集中」と表示されます。

   安定運転が終了すると診断結果と運転データが表示されます。
   [F1][F2] ボタンでページ移動します。
   [メニュー] ボタンを押してサービスメニュー画面に戻ります。







お知らせ

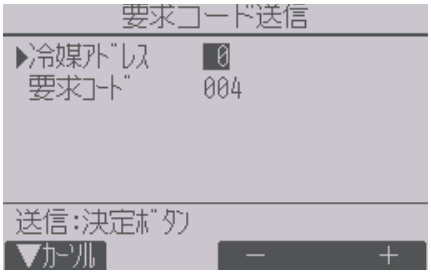
- 安定運転まで10～20分かかります。
- 試運転中は、本機能を利用できません。
- 室外ユニットとの組み合わせにより一部機種は対応しておりません。
  本機能の有無は、カタログで確認してください。

(7) 要求コード送信（スリムのみ）

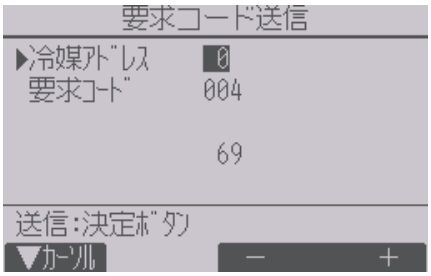
各サーミスタ温度、異常履歴等の運転データの詳細を確認することができます。

手順

1. 点検メニューで「要求コード送信」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
2. 確認したい「冷媒アドレス」、「要求コード」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   - 冷媒アドレス：0～15
   - 要求コード：「MA スマートリモコン操作マニュアル」を参照してください。



データを収集し、表示します。
[メニュー] ボタンを押すと、サービスメニュー画面に戻ります。

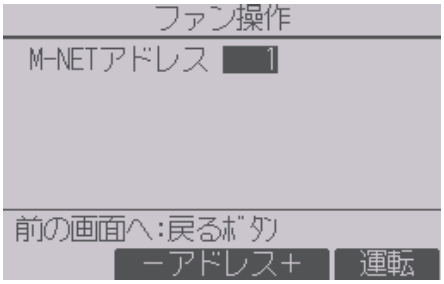


(8) ファン操作 (マルチのみ)

ファンを運転することで接続されている室内ユニットの所在を確認することができます。
室内ユニットがファン操作機能に非対応の場合は異常終了を表示します。

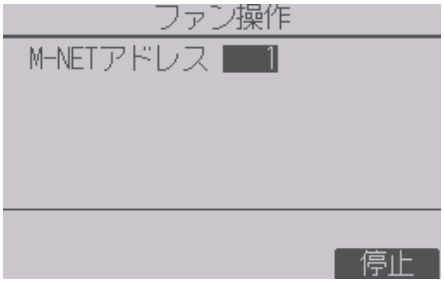
手順

1. 点検メニューで「ファン操作」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
2. 確認したい室内ユニットのアドレスを選択し、**[F4]**(運転)ボタンを押す。
   - ファンが運転します。



ファン停止時

3. 確認が終了した場合、**[F4]**(停止)ボタンを押す。
   - ファンが停止します。



ファン運転時

4. **[戻る]** ボタンを押すと、点検メニュー画面に戻ります。

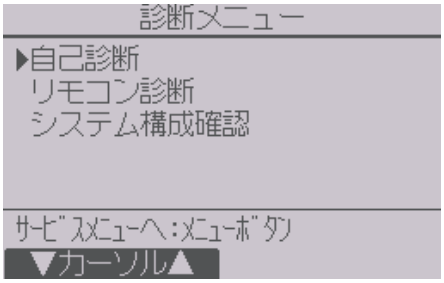
[10] 自己診断

(1) 異常履歴の検索

リモコンでユニットの異常履歴を検索できます。

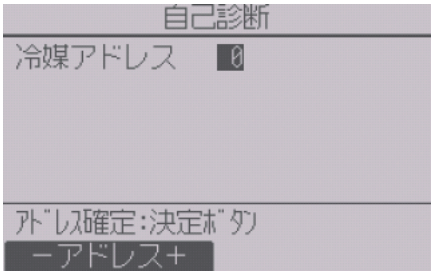
手順

1. 診断メニューで「自己診断」を選択する。

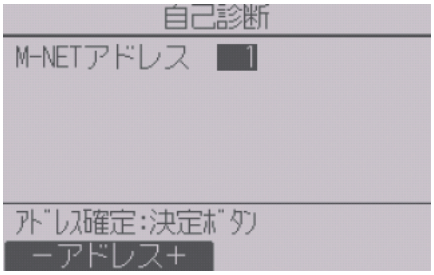


2. **[決定]** ボタンを押す。
自己診断画面が表示されます。

〈スリム〉



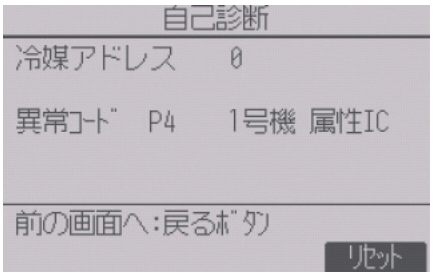
〈マルチ〉



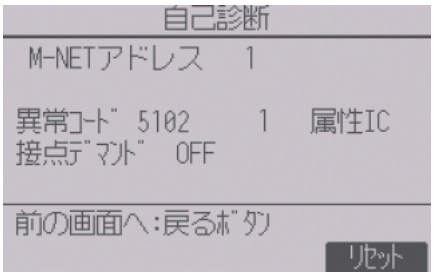
3. **[F1][F2]** ボタンで冷媒アドレス(スリムの場合)、またはM-NETアドレス(マルチの場合)を設定する。

4. **[決定]** ボタンを押す。
異常コード・号機・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態(マルチのみ)が表示されます。
異常履歴が無い場合は、「－」が表示されます。

〈スリム〉



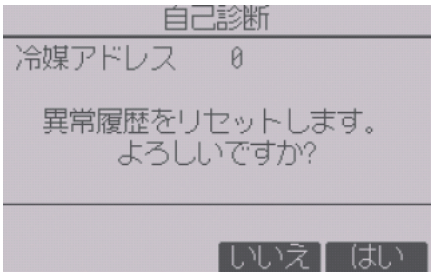
〈マルチ〉



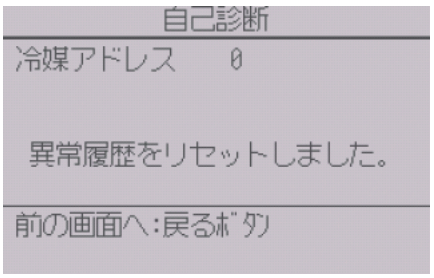
(2) 異常履歴のリセット

手順

1. 異常履歴表示中に **[F4]**（リセット）ボタンを押す。
   確認画面が表示されます。



2. 確認画面で **[F4]**（はい）ボタンを押す。
   室内ユニットの異常履歴が消去されます。
   消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」、室内ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」と表示されます。

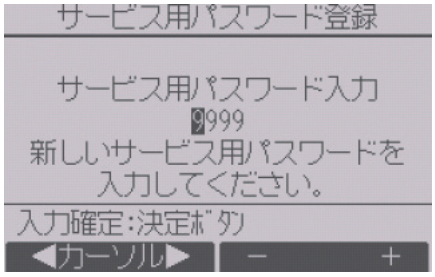


[11] サービス用パスワード登録

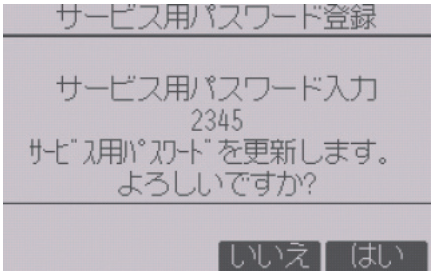
サービスメニューの操作を行うためのパスワードを変更します。

手順

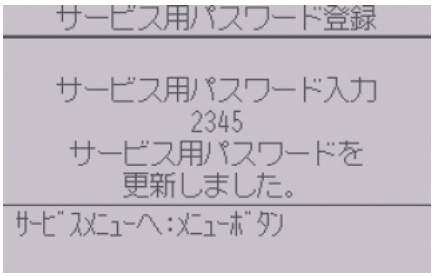
1. その他メニューで「サービス用パスワード登録」を選択する。
2. **[決定]** ボタンを押す。
   新規パスワード登録画面が表示されます。
3. **[F1] [F2]** ボタンを押して桁を選択する。
4. **[F3] [F4]** ボタンを押して０～９の数字を設定する。
5. ４桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押す。
   パスワード更新確認画面が表示されます。



6. 更新する場合は **[F4]**（はい）ボタンを押す。
   取り消す場合は **[F3]**（いいえ）ボタンを押す。
   パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。



7. **[メニュー]** ボタンでサービスメニューに、または **[戻る]** ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻る。



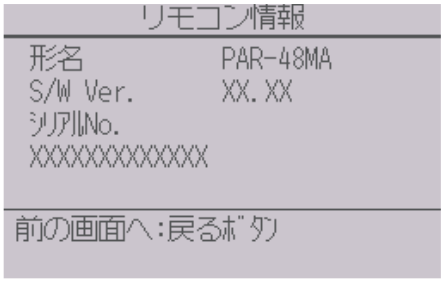
[12] リモコン情報

ご使用中のリモコンの下記情報を確認することができます。

- 形名
- ソフトウェアバージョン
- シリアルNo.

手順

1. サービスメニューで「その他」を選択し、その他メニューを表示させる。
2. その他メニューで「リモコン情報」を選択する。



[13] リモコン設定初期化

リモコンの取扱説明書を参照してください。

4. 修理を依頼する前に

4-1. リモコン診断

リモコンの操作ができない場合、本機能でリモコンの診断をしてください。
リモコン表示の有無（線を含む）を確認してください。

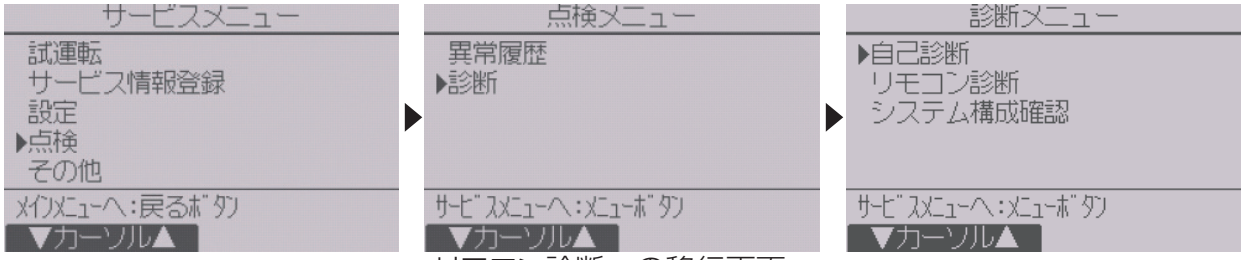
(1) リモコン表示が無の場合

リモコンに正常な電圧（DC8.5～12V）が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。リモコン配線と室内ユニットを点検してください。

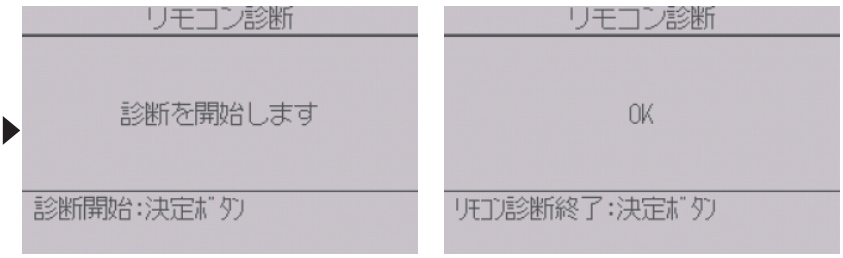
(2) リモコン表示が有の場合

手順

1. 点検メニューで「診断」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
2. 診断メニューで「リモコン診断」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
   リモコン診断が開始され、結果が表示されます。
   リモコン診断を行わないときは、**[メニュー]** または **[戻る]** ボタンを押すとリモコン診断メニューを終了します。このとき、リモコンは再立上げをしません。
3. リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押す。
   リモコン診断を終了し、自動的に再立上げします。



リモコン診断への移行画面



リモコン診断結果の画面

OK	：	リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
E3、6832	：	伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコン（またはシステムコントローラ）の故障が考えられます。伝送線、他のリモコン（またはシステムコントローラ）を調査してください。
NG（ALL0、ALL1）	：	リモコン送受信回路が故障しています。リモコンを交換してください。
ERC（データエラー数）	：	データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送線に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送線を調査してください。

4-2. 無線センサ設定

無線センサの登録／設定ができない場合、以下のことを確認してください。

現象	要因	対処方法
無線センサから取得した室内温度または CO_2 濃度が表示されない	無線センサ登録をしていない	無線センサ登録をしてください。 ※登録方法は指定のページを参照してください。「無線センサ登録（17 ページ）」
	無線センサ設定をしていない	無線センサ設定をしてください。 ※設定方法は指定のページを参照してください。「無線センサ設定（18 ページ）」
	無線センサの電源が入っていない	無線センサの電源を入れてください。
	無線センサの設置場所が良くない	リモコンと無線センサの間に遮蔽物が無いこと、距離が製品仕様範囲内であること等を確認してください。
	リモコンの Bluetooth が使えない	・リモコンの Bluetooth 設定を ON にしてください。 ※詳細は取扱説明書（Bluetooth® 設定編）を参照してください。 ・MELRemo でリモコンと接続できることを確認してください。 ※ MELRemo は、Bluetooth 通信により三菱電機株式会社の業務用エアコン専用リモコンの操作を、スマートフォンで行うためのアプリケーションソフトです。
	無線センサが故障している	無線センサのマニュアルを確認してください。 ※ラトックシステム株式会社がリリースしているスマートフォンアプリと無線センサの接続はしないでください。リモコンと無線センサの接続ができなくなります。

5. 法令関連の表示

5-1. 商標について

・ Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら登録商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

MEMO

MEMO

MEMO

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内二丁目７番３号（東京ビル）

2026年４月作成

WT11214X01_A4